

2024 年度 滋賀医科大学

学修・学生生活実態調査報告書

(抜粋版)

対象期間：2023 年度



医学・看護学教育センター

CONTENTS

はじめに	_____	2
調査概要	_____	3
学生生活編	_____	4
I．回収率	_____	5
II．生活について	_____	6
III．交友関係について	_____	21
IV．学業について	_____	23
V．図書館の利用について	_____	36
VI．課外活動について	_____	38
VII．卒業後の進路について	_____	42

はじめに

本調査は、本学における学生生活のうち、「住居、経済生活、交友関係、学内施設の利用、課外活動、卒業後の進路」などについてその実情を把握し、学生生活の一層の向上及び修学上の支援、福利厚生の改善等への参考資料とすることを目的として 2006 年度に始まり、今回で 19 回目の実施となりました。2019 年度調査から従来、医療人育成教育研究センター教育方法改善部門（医学・看護学教育センター内に包括）において実施していた「学習に関する実態調査」と統合し、学生の皆さんの様子を正課教育・正課外教育それぞれの側面から包括的に把握できるようにしました。

今回は、全体として約 38%の回答であり、コロナ禍で低下した回答率も徐々に回復しています。今後も、さらに学生の皆さんの意見をより多く集められるよう、調査方法などを改善していきたいと考えています。また、今回も本学の課題や改善方法について建設的なご提案を多数いただきました。寄せられた意見に対して、本学各部署でしっかりと検討し、対応を進めていきます。

本学は常に学生の皆さんの教育や支援を主軸として施設や各種制度の改善を行っており、今年度の開学 50 周年事業の 1 つである学内施設の改修については、学生の皆さんのご意見も取り入れながら実施しました。また、昨年度から原則対面型の講義形式に戻り、コロナ禍以前の学修環境や学生生活を取り戻しつつあります。

今後も、学生の皆さんからの様々な要望や意見を大学運営に取り込み、適切に学生支援に反映することで、修学上の支援や福利厚生の改善、学生生活の向上をめざしていきます。

医学・看護学教育センター長

松浦 博

調査概要

本調査は、平成 16 年 7 月に医療人育成教育研究センター学生生活支援部門会議内に設置された専門委員会において検討を行い、平成 18 年度から開始した。以降、毎年実施し、滋賀医科大学における学生生活のうち、「住居・経済生活・交友関係・学内施設の利用・課外活動・卒業後の進路」などについてその実態を把握し、学生生活の一層の向上及び就学上の指導、福利厚生改善等への参考資料とすることを目的としている。

また、2018 年度調査から、従来医療人育成教育研究センター教育方法改善部門において実施していた「学習に関する実態調査」と統合され、本学学生の実態を正課教育・正課外教育それぞれの側面から包括的に捉えることを可能とした。

調査期間

2024 年 4 月 1 日（月）～2024 年 5 月 8 日（水）

調査方法

調査は GoogleForms にて行い、4 月の在学生オリエンテーション時及びメールにより通知した。

（昨年度までは、学生生活編はマークシート、学修状況編は回答用紙を配付し実施していた。）

調査対象

2024 年 4 月 1 日時点で在籍している学部学生（令和 6 年度新入生は除く）。

2024 年 4 月 1 日現在

調査対象	第 2 学年	第 3 学年	第 4 学年	第 5 学年	第 6 学年	計
医学科	109	110	100	110	132	648
看護学科	65	60	55			176
計	174	170	155	110	132	824

調査項目

次の 9 項目で構成

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| (1)基本項目 | (2)生活について |
| (3)交友関係について | (4)学業について |
| (5)図書館の利用について | (6)課外活動について |
| (7)卒業後の進路について | (8)「学修に関する実態調査」調査項目（記述式） |
| (9)大学への意見・要望（自由記述） | |

2024 年度

学修・学生生活実態調査

学生生活編

学生生活編では、「基本項目・生活について・交友関係について・学業について・図書館の利用について・課外活動について・卒業後の進路について」の学生生活に関連する 7 項目からなる選択式の設問を統計的に集計した結果を項目ごとに掲載しています。

I. 回収率

今年度の調査票回収率は、37.9%（医学科 38.1%、看護学科 37.2%）であった。

学科	学年	学生数	総提出数	提出率
医学科	1年生	-	-	-
	2年生	109	53	48.6%
	3年生	110	60	54.5%
	4年生	100	54	54.0%
	5年生	110	13	11.8%
	6年生	132	34	25.8%
医学科計	小計	561	214	38.1%
看護学科	1年生	-	-	-
	2年生	65	21	32.3%
	3年生	60	27	45.0%
	4年生	55	19	34.5%
看護学科計	小計	180	67	37.2%
全体計		741	281	37.9%

(参考：入学区分別)

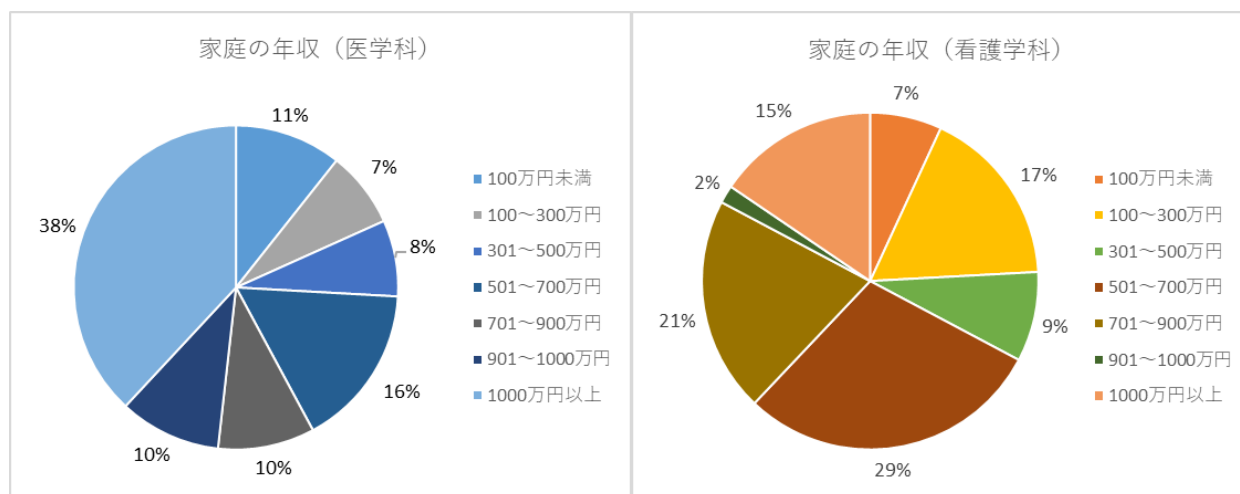
学科	学年	推薦		前期	編入	計
		一般	地域			
医学科	1年生	—	—	—	—	
	2年生	16	4	28	5	53
	3年生	19	4	26	11	60
	4年生	12	3	30	9	54
	5年生	5	1	4	3	13
	6年生	7	2	20	5	34
	小計	59	14	108	33	214
看護学科	1年生	—	—	—	—	
	2年生	5	0	16	0	21
	3年生	7	0	20	0	27
	4年生	5	0	14	0	19
	小計	17	0	50	0	67
全体計		76	14	158	33	281

Ⅱ. 生活について

<家庭の年収>

医学科は 1000 万円以上、看護学科は 501～700 万円の世帯が最も多かった。

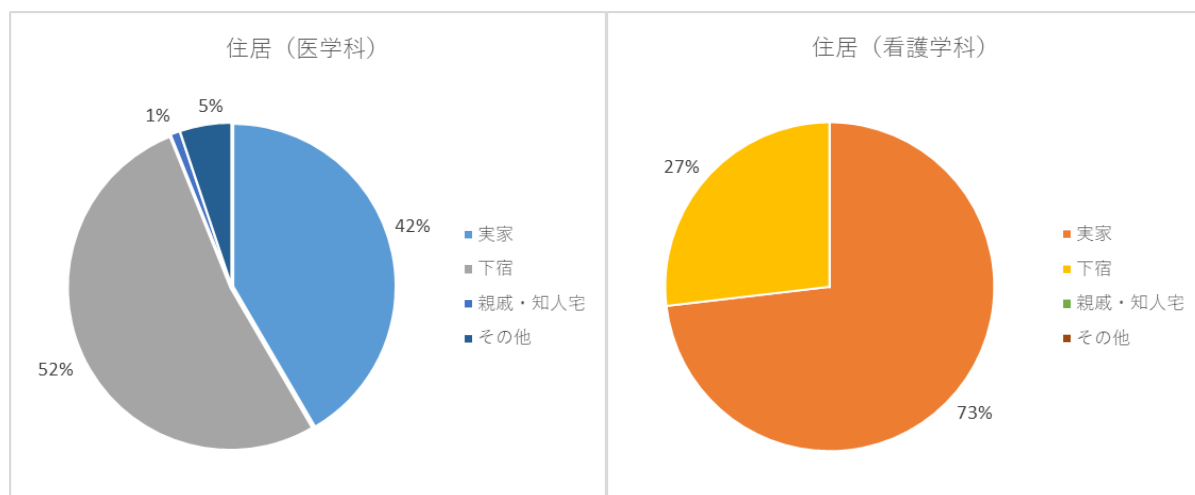
	医学科		看護学科		計	
100万円未満	21	10.7%	4	6.9%	25	9.8%
100～300万円	15	7.6%	10	17.2%	25	9.8%
301～500万円	15	7.6%	5	8.6%	20	7.8%
501～700万円	32	16.2%	17	29.3%	49	19.2%
701～900万円	19	9.6%	12	20.7%	31	12.2%
901～1000万円	20	10.2%	1	1.7%	21	8.2%
1000万円以上	75	38.1%	9	15.5%	84	32.9%
計	197	100.0%	58	100.0%	255	100.0%



<住居>

医学科では半数以上の学生が下宿をしており、一方で看護学科では自宅通学が7割を超えていた。

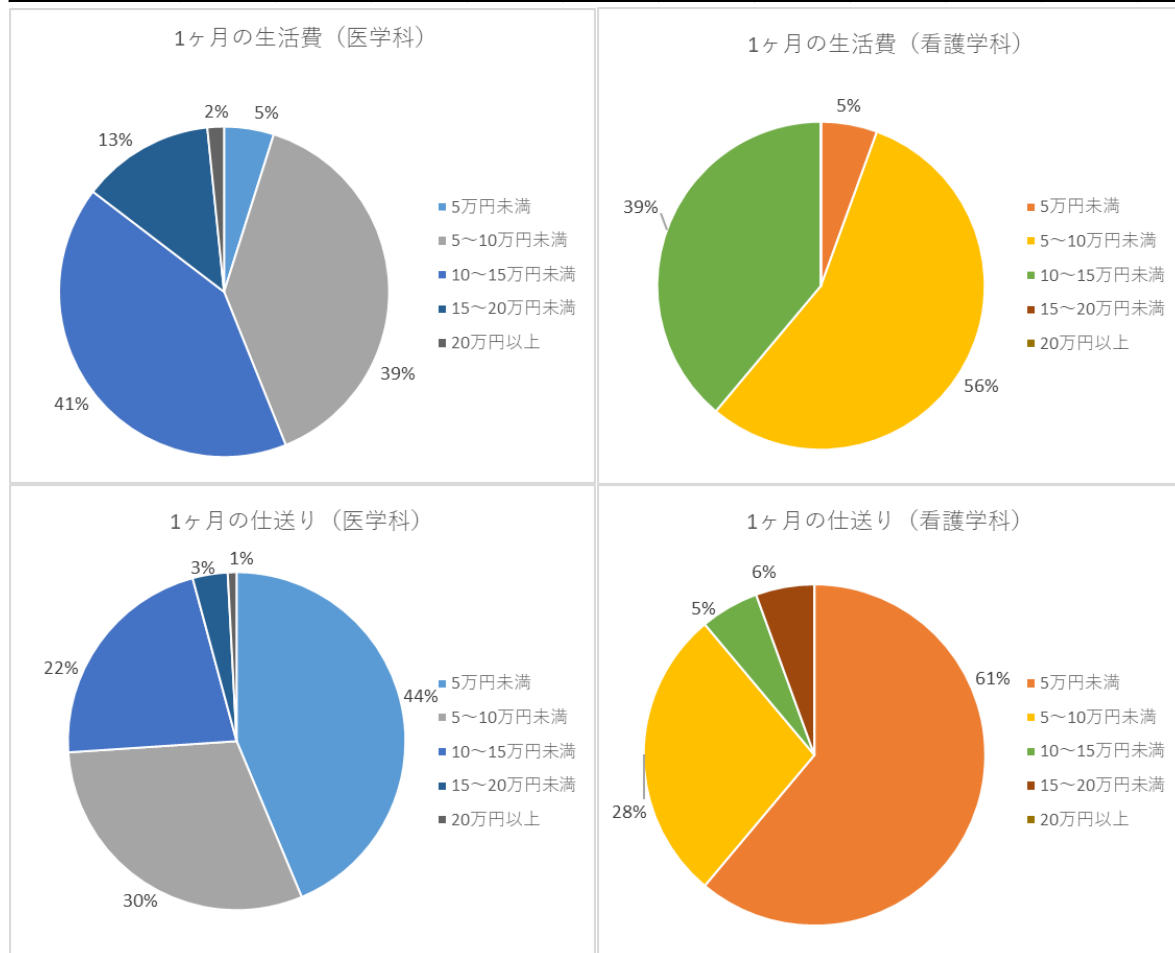
	医学科		看護学科		計	
実家	89	41.6%	49	73.1%	138	49.1%
下宿	112	52.3%	18	26.9%	130	46.3%
親戚・知人宅	2	0.9%	0	0.0%	2	0.7%
その他	11	5.1%	0	0.0%	11	3.9%
計	214	100.0%	67	100.0%	281	100.0%



<生活費・仕送り>

実家以外で生活している学生において、1ヶ月の生活費は5～10万、10～15万円が大半であり、保護者からの仕送りは両学科ともに5万円未満が最も多い状況であった。

	1ヶ月の生活費						1ヶ月の仕送り					
	医学科		看護学科		計		医学科		看護学科		計	
5万円未満	6	4.9%	1	5.6%	7	5.0%	52	43.7%	11	61.1%	63	46.0%
5～10万円未満	48	39.0%	10	55.6%	58	41.1%	36	30.3%	5	27.8%	41	29.9%
10～15万円未満	51	41.5%	7	38.9%	58	41.1%	26	21.8%	1	5.6%	27	19.7%
15～20万円未満	16	13.0%	0	0.0%	16	11.3%	4	3.4%	1	5.6%	5	3.6%
20万円以上	2	1.6%	0	0.0%	2	1.4%	1	0.8%	0	0.0%	1	0.7%
計	123	100.0%	18	100.0%	141	100.0%	119	100.0%	18	100.0%	137	100.0%

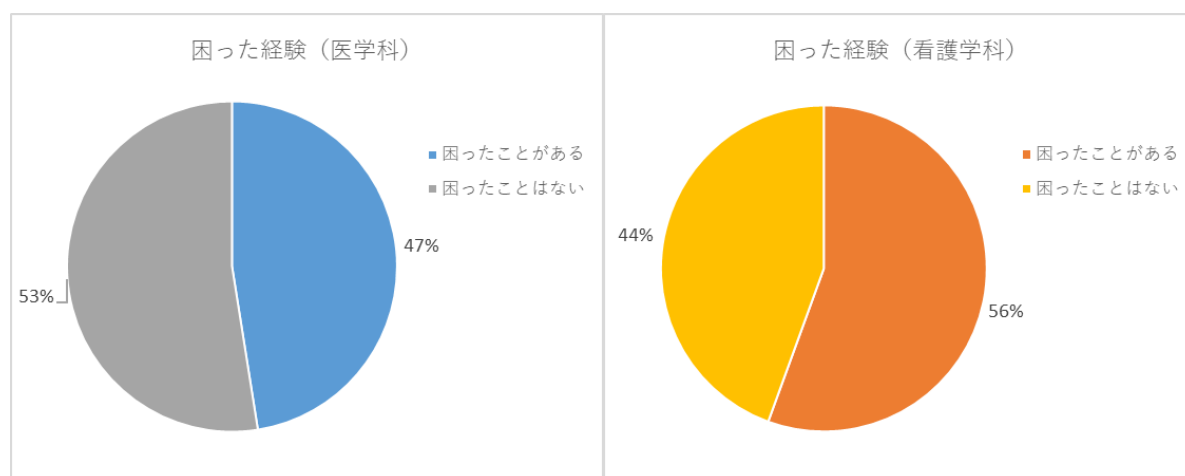


＜一人暮らしで困った経験と援助＞

実家以外で生活している学生のうち、医学科では約 5 割、看護学科では約 6 割の学生が、病気等の時に困った経験があり、困った際に援助してもらった相手を尋ねると、両学科ともに約 7～8 割が家族や友人の援助を受けることができているようである。一方で、両学科ともに約 1～2 割の学生は援助を受けられていないようである。

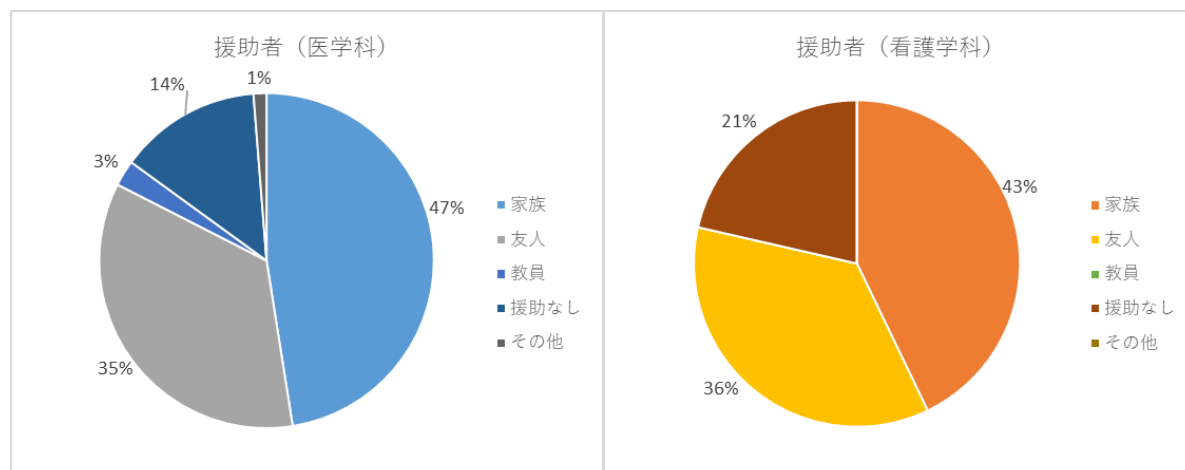
（困った経験）

	医学科		看護学科		計	
困ったことがある	57	47.5%	10	55.6%	67	48.6%
困ったことはない	63	52.5%	8	44.4%	71	51.4%
計	120	100.0%	18	100.0%	138	100.0%



（援助者）（複数回答）

	医学科		看護学科		計	
家族	38	47.5%	6	42.9%	44	46.8%
友人	28	35.0%	5	35.7%	33	35.1%
教員	2	2.5%	0	0.0%	2	2.1%
援助なし	11	13.8%	3	21.4%	14	14.9%
その他	1	1.3%	0	0.0%	1	1.1%
計	80	100.0%	14	100.0%	94	100.0%

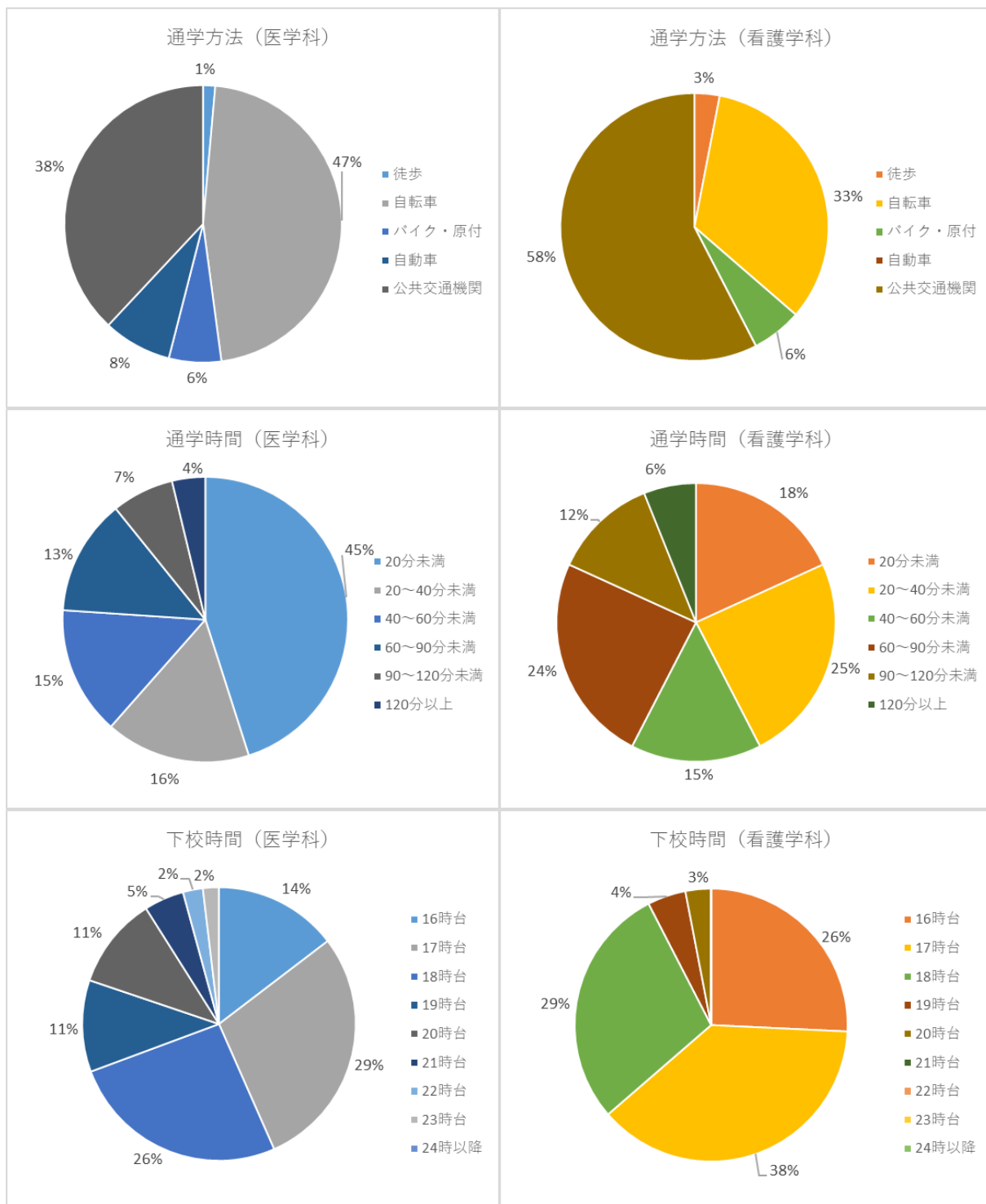


＜通学方法等＞

通学方法については、医学科では「自転車」次いで、「公共交通機関」が多く、看護学科では「公共交通機関」が最も多い。なお、通学時間については医学科では「20 分未満」の学生が多く、看護学科では「20～40 分未満」が多い。

また、下校時間については、医学科では 21 時まで、看護学科では 19 時までほとんどの学生が下校していることが読み取れる。

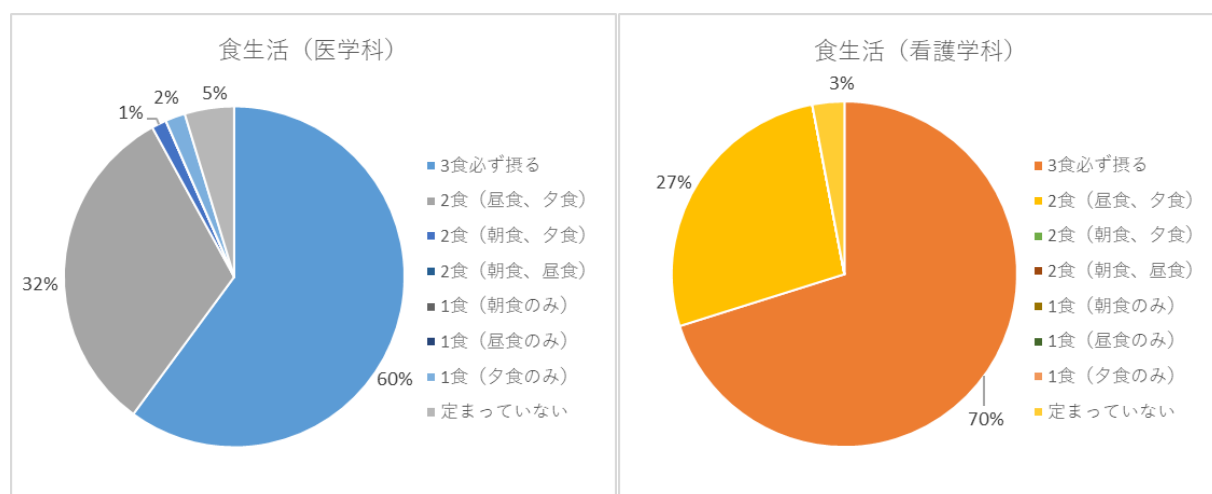
		医学科		看護学科		計	
通学方法	徒歩	3	1.4%	2	3.0%	5	1.8%
	自転車	99	46.5%	22	33.3%	121	43.4%
	バイク・原付	13	6.1%	4	6.1%	17	6.1%
	自動車	17	8.0%	0	0.0%	17	6.1%
	公共交通機関	81	38.0%	38	57.6%	119	42.7%
	計	213	100.0%	66	100.0%	279	100.0%
通学時間	20分未満	96	45.1%	12	18.2%	108	38.7%
	20～40分未満	35	16.4%	16	24.2%	51	18.3%
	40～60分未満	31	14.6%	10	15.2%	41	14.7%
	60～90分未満	28	13.1%	16	24.2%	44	15.8%
	90～120分未満	15	7.0%	8	12.1%	23	8.2%
	120分以上	8	3.8%	4	6.1%	12	4.3%
	計	213	100.0%	66	100.0%	279	100.0%
下校時間	16時台	31	14.6%	17	25.8%	48	17.3%
	17時台	61	28.8%	25	37.9%	86	30.9%
	18時台	55	25.9%	19	28.8%	74	26.6%
	19時台	23	10.8%	3	4.5%	26	9.4%
	20時台	23	10.8%	2	3.0%	25	9.0%
	21時台	10	4.7%	0	0.0%	10	3.6%
	22時台	5	2.4%	0	0.0%	5	1.8%
	23時台	4	1.9%	0	0.0%	4	1.4%
	24時以降	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計		212	100.0%	66	100.0%	278	100.0%



<食事>

両学科とも約 6 割の学生が 3 食摂取している一方で、わずかではあるが食事の回数が定まっていない学生が一定数いるとの結果であった。

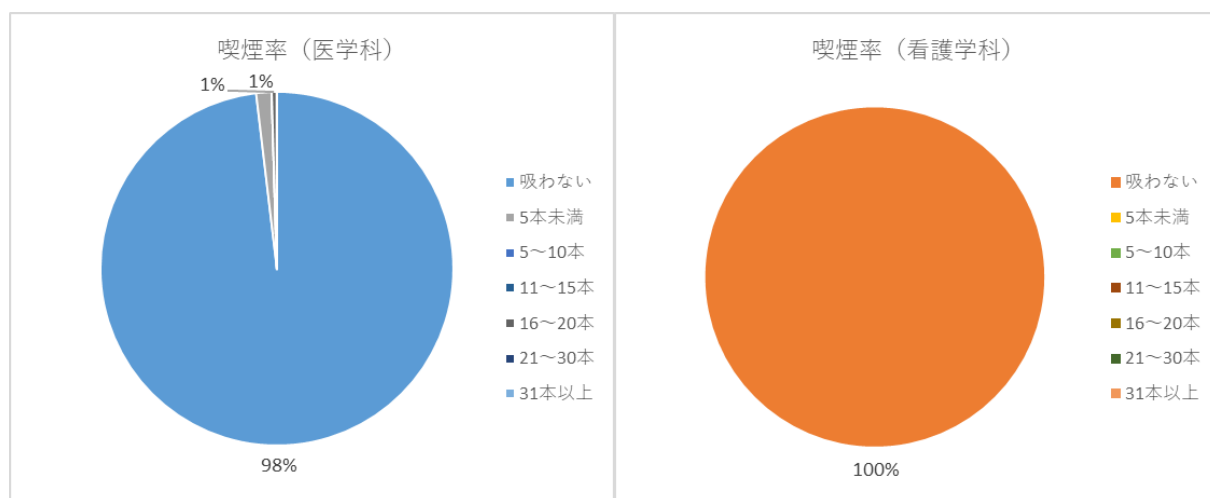
	医学科		看護学科		計	
3食必ず摂る	128	60.1%	47	70.1%	175	62.5%
2食（昼食、夕食）	68	31.9%	18	26.9%	86	30.7%
2食（朝食、夕食）	3	1.4%	0	0.0%	3	1.1%
2食（朝食、昼食）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1食（朝食のみ）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1食（昼食のみ）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1食（夕食のみ）	4	1.9%	0	0.0%	4	1.4%
定まっていない	10	4.7%	2	3.0%	12	4.3%
計	213	100%	67	100.0%	280	100.0%



<喫煙>

看護学科では100%、医学科においても100%に近い学生が喫煙していないとの結果であった。

	医学科		看護学科		計	
吸わない	208	98.1%	65	100.0%	273	98.6%
5本未満	3	1.4%	0	0.0%	3	1.1%
5～10本	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
11～15本	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
16～20本	1	0.5%	0	0.0%	1	0.4%
21～30本	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
31本以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	212	100.0%	65	100.0%	277	100.0%



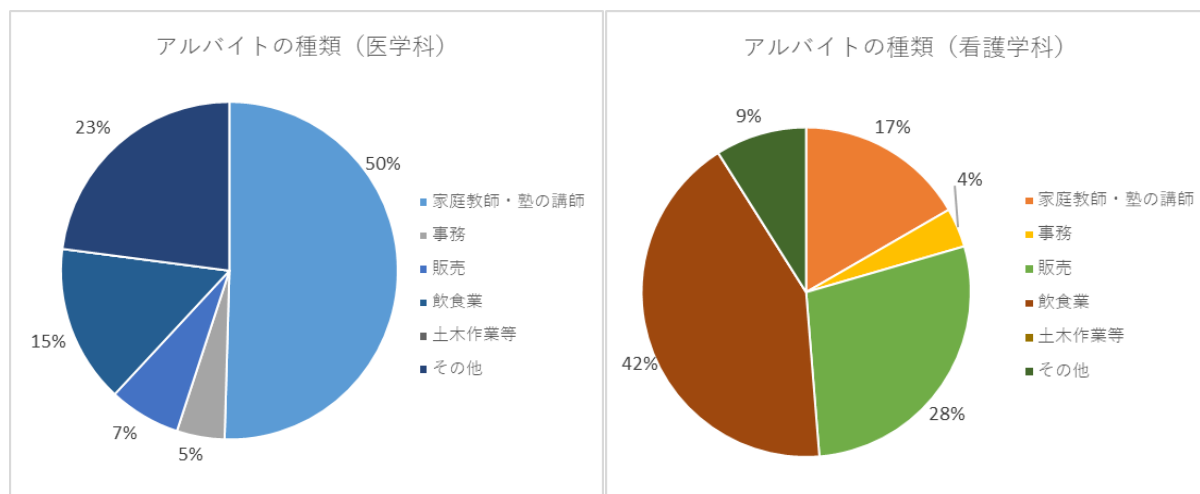
＜アルバイト＞

アルバイトの職種は、医学科では「家庭教師・塾の講師」、看護学科では「飲食業」が最も多かった。1週間の労働時間については、医学科で「4～8 時間未満」、看護学科で「8～12 時間未満」が最も多かった。

また、両学科ともアルバイトの目的としては、課外活動等費用が多数を占めていた。

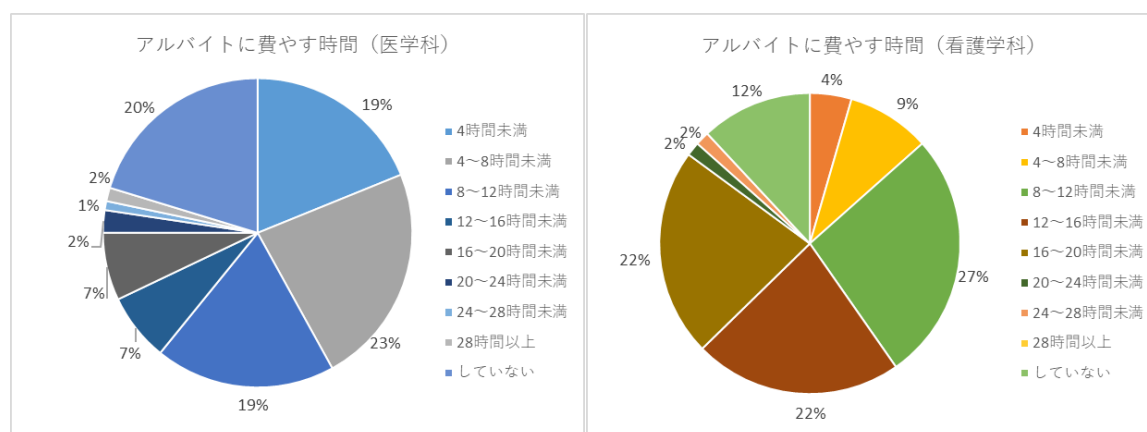
（アルバイトの種類）（複数回答）

	医学科		看護学科		計	
家庭教師・塾の講師	110	50.5%	13	16.7%	123	41.6%
事務	10	4.6%	3	3.8%	13	4.4%
販売	15	6.9%	22	28.2%	37	12.5%
飲食業	33	15.1%	33	42.3%	66	22.3%
土木作業等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	50	22.9%	7	9.0%	57	19.3%
計	218	100.0%	78	100.0%	296	100.0%



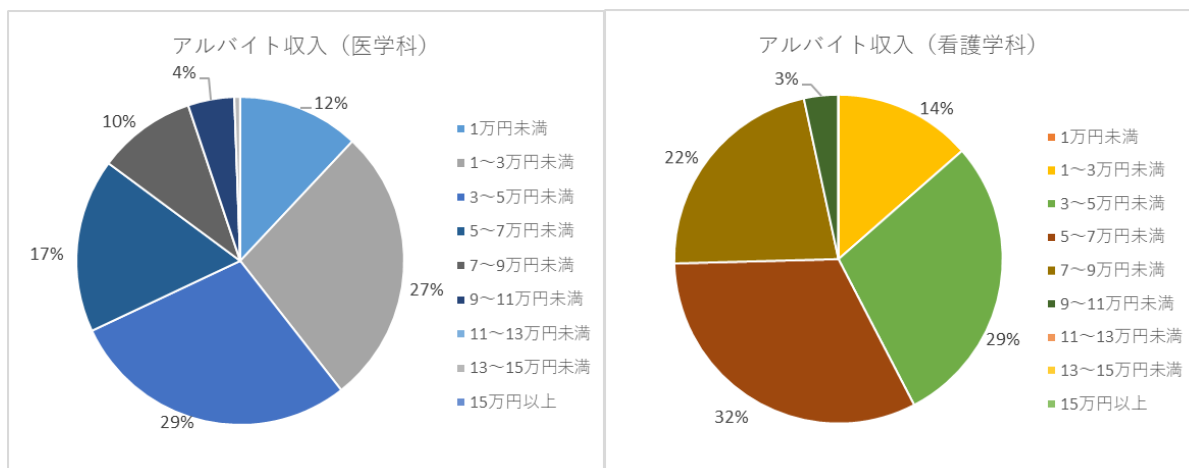
(1 週間の就業時間)

	医学科		看護学科		計	
4時間未満	40	18.9%	3	4.5%	43	15.4%
4～8時間未満	49	23.1%	6	9.0%	55	19.7%
8～12時間未満	40	18.9%	18	26.9%	58	20.8%
12～16時間未満	15	7.1%	15	22.4%	30	10.8%
16～20時間未満	15	7.1%	15	22.4%	30	10.8%
20～24時間未満	5	2.4%	1	1.5%	6	2.2%
24～28時間未満	2	0.9%	1	1.5%	3	1.1%
28時間以上	3	1.4%	0	0.0%	3	1.1%
していない	43	20.3%	8	11.9%	51	18.3%
計	212	100.0%	67	100.0%	279	100.0%



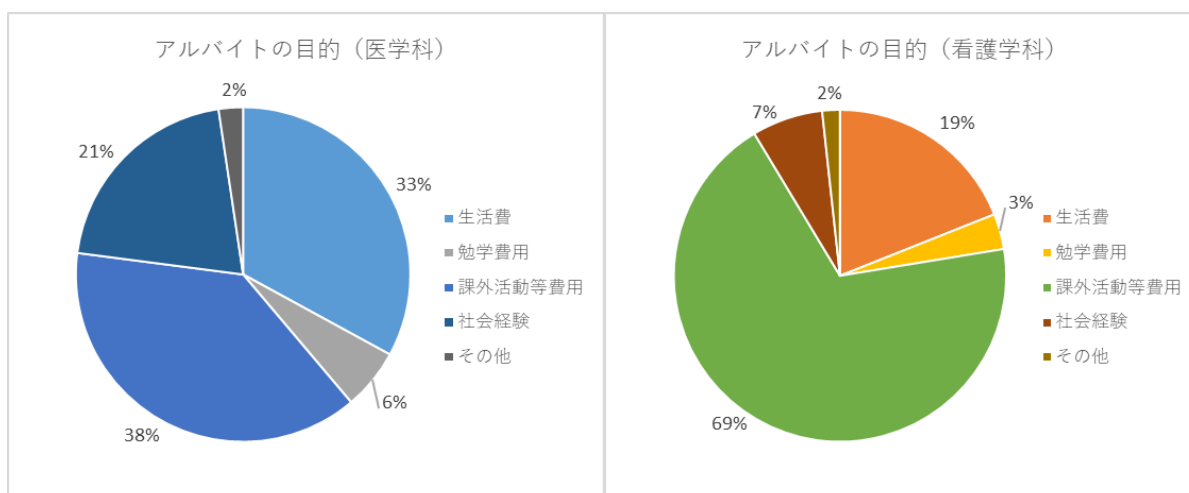
(1 ヶ月の収入)

	医学科		看護学科		計	
1万円未満	21	12.0%	0	0.0%	21	9.0%
1～3万円未満	48	27.4%	8	13.6%	56	23.9%
3～5万円未満	50	28.6%	17	28.8%	67	28.6%
5～7万円未満	30	17.1%	19	32.2%	49	20.9%
7～9万円未満	17	9.7%	13	22.0%	30	12.8%
9～11万円未満	8	4.6%	2	3.4%	10	4.3%
11～13万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
13～15万円未満	1	0.6%	0	0.0%	1	0.4%
15万円以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	175	100.0%	59	100.0%	234	100.0%



（アルバイトの目的）

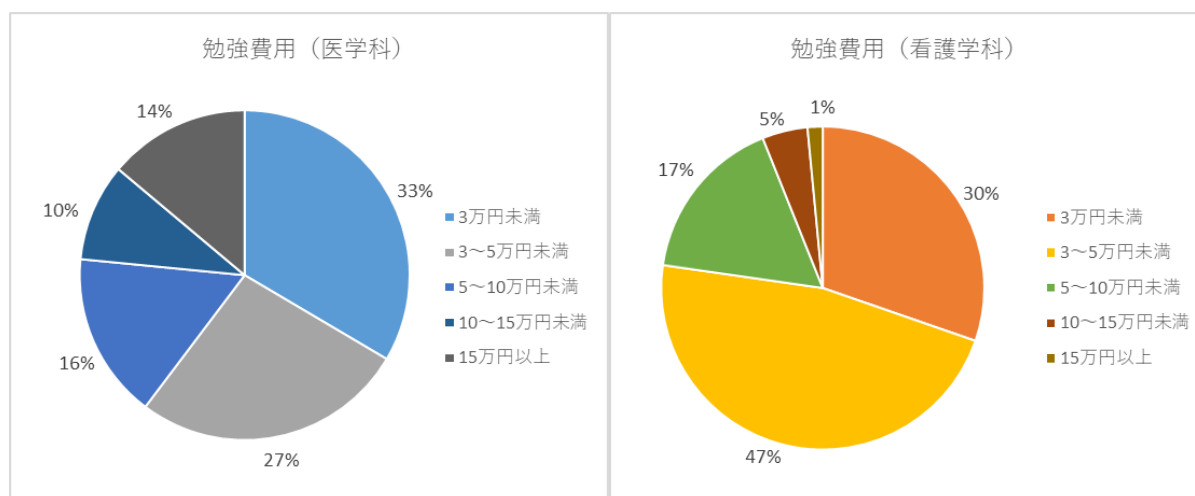
	医学科		看護学科		計	
生活費	56	32.9%	11	19.0%	67	29.4%
勉学費用	10	5.9%	2	3.4%	12	5.3%
課外活動等費用	65	38.2%	40	69.0%	105	46.1%
社会経験	35	20.6%	4	6.9%	39	17.1%
その他	4	2.4%	1	1.7%	5	2.2%
計	170	100.0%	58	100.0%	228	100.0%



<勉強費用>

昨年度から1年間で教科書・参考書にかかった費用において、医学科では「3万円未満」、看護学科では「3～5万円未満」の回答が最も多かった。

	医学科		看護学科		計	
3万円未満	70	33.5%	20	30.3%	90	32.7%
3～5万円未満	56	26.8%	31	47.0%	87	31.6%
5～10万円未満	34	16.3%	11	16.7%	45	16.4%
10～15万円未満	20	9.6%	3	4.5%	23	8.4%
15万円以上	29	13.9%	1	1.5%	30	10.9%
計	209	100.0%	66	100.0%	275	100.0%



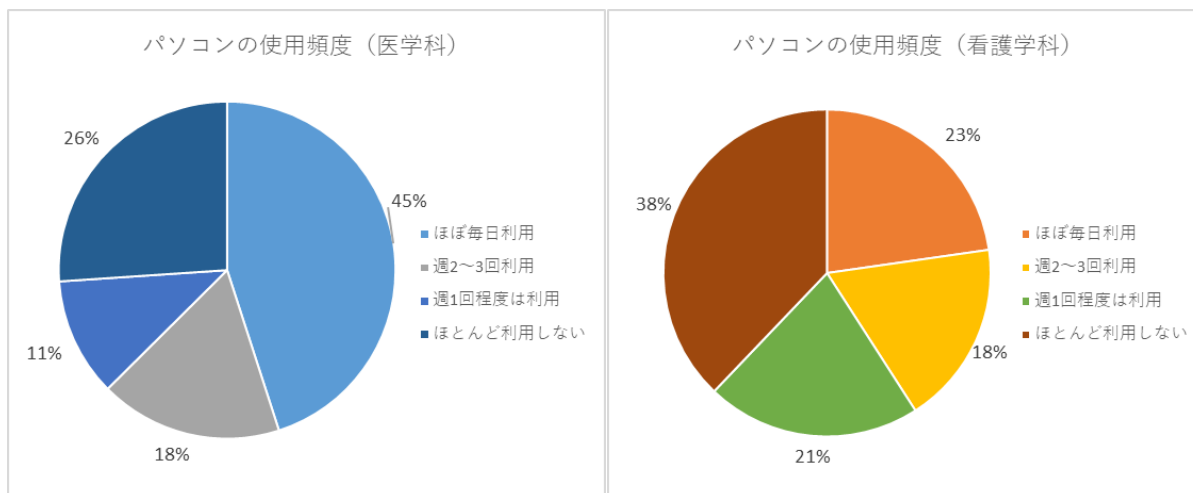
<パソコン利用率・SNS>

医学科では「ほぼ毎日利用」を選択した学生が最も多く、パソコンの利用率は比較的高いが、看護学科では「ほとんど利用しない」を選択した学生が約4割を占め、医学科に比べるとパソコンの利用率は低い傾向にある。

また、利用しているSNSの種類に関する設問では、両学科ともに「X（旧 Twitter）」と「Instagram」を利用しているとの回答が最も多かった。

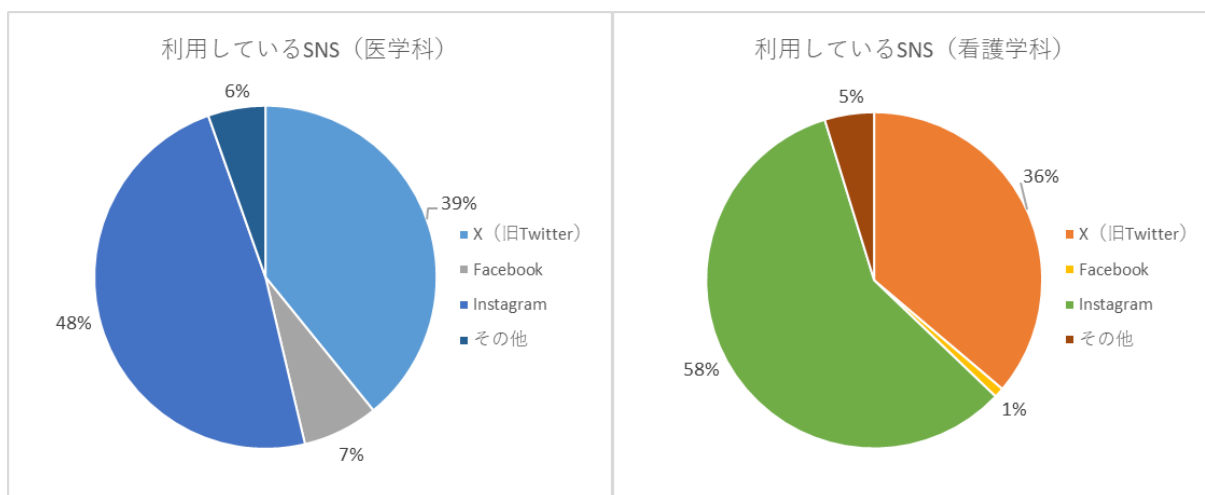
（パソコン利用率）

	医学科		看護学科		計	
ほぼ毎日利用	95	45.0%	15	22.7%	110	39.7%
週2～3回利用	37	17.5%	12	18.2%	49	17.7%
週1回程度は利用	24	11.4%	14	21.2%	38	13.7%
ほとんど利用しない	55	26.1%	25	37.9%	80	28.9%
計	211	100.0%	66	100.0%	277	100.0%



（利用している SNS）（複数回答）

	医学科		看護学科		計	
X（旧Twitter）	137	39.1%	38	36.2%	175	38.5%
Facebook	25	7.1%	1	1.0%	26	5.7%
Instagram	169	48.3%	61	58.1%	230	50.5%
その他	19	5.4%	5	4.8%	24	5.3%
計	350	100.0%	105	100.0%	455	100.0%

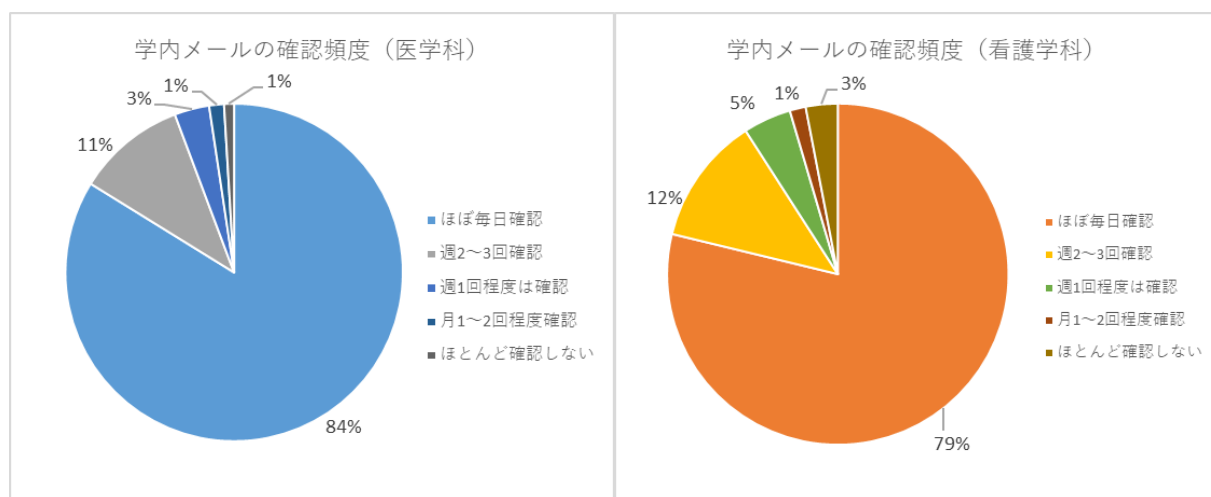


<学内情報の確認頻度>

学内メールの確認頻度は両学科とも約 8 割が「ほぼ毎日」と回答した。一方で、約 8 割の学生が掲示板は「ほとんど確認しない」と回答した。

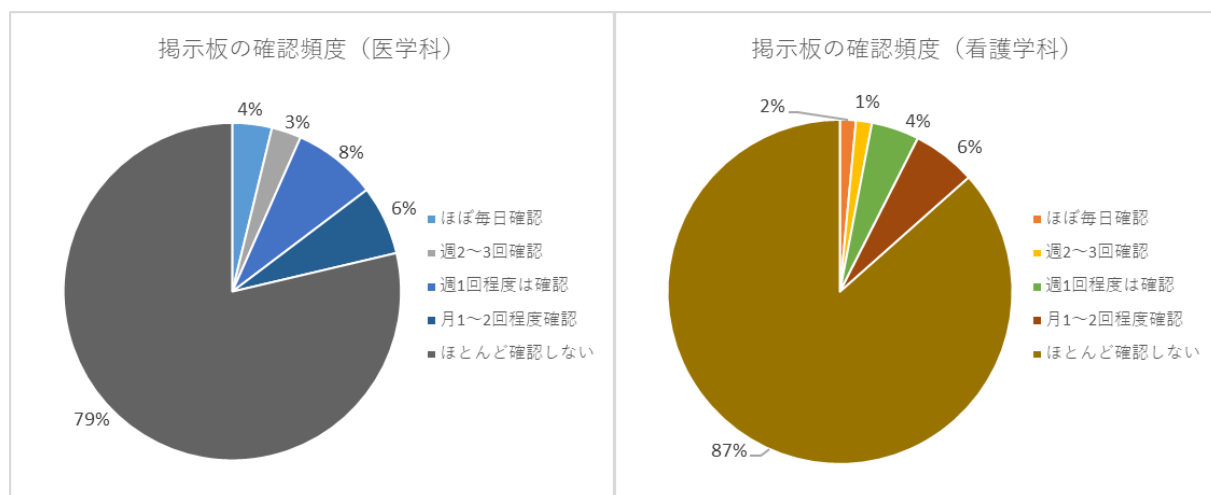
(学内メール)

	医学科		看護学科		計	
ほぼ毎日確認	176	83.8%	52	78.8%	228	82.6%
週2～3回確認	22	10.5%	8	12.1%	30	10.9%
週1回程度は確認	7	3.3%	3	4.5%	10	3.6%
月1～2回程度確認	3	1.4%	1	1.5%	4	1.4%
ほとんど確認しない	2	1.0%	2	3.0%	4	1.4%
計	210	100.0%	66	100.0%	276	100.0%



(掲示板)

	医学科		看護学科		計	
ほぼ毎日確認	8	3.8%	1	1.5%	9	3.2%
週2～3回確認	6	2.8%	1	1.5%	7	2.5%
週1回程度は確認	17	8.1%	3	4.5%	20	7.2%
月1～2回程度確認	14	6.6%	4	6.0%	18	6.5%
ほとんど確認しない	166	78.7%	58	86.6%	224	80.6%
計	211	100.0%	67	100.0%	278	100.0%



＜福利棟の利用状況＞

食堂については、医学科では約5割、看護学科で約3割の学生がほぼ毎日利用している。

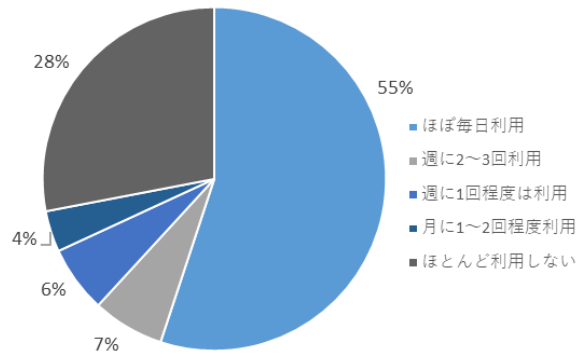
購買部については、両学科ともに学生の約半数が週2～3回以上利用している。

書籍部については、両学科の大半の学生がほとんど利用しないと回答した。

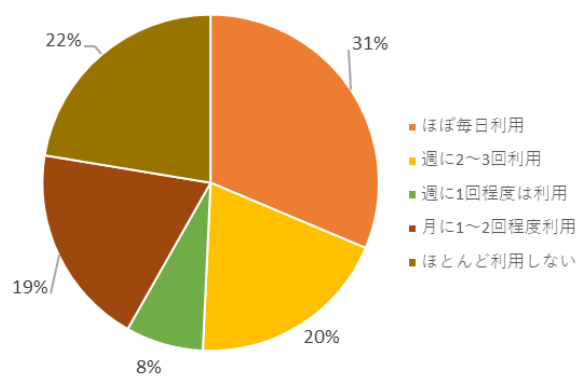
（生協利用頻度）

		医学科		看護学科		計	
食堂	ほぼ毎日利用	114	55.1%	21	31.3%	135	49.3%
	週に2～3回利用	14	6.8%	13	19.4%	27	9.9%
	週に1回程度は利用	13	6.3%	5	7.5%	18	6.6%
	月に1～2回程度利用	8	3.9%	13	19.4%	21	7.7%
	ほとんど利用しない	58	28.0%	15	22.4%	73	26.6%
	計	207	100.0%	67	100.0%	274	100.0%
購買部	ほぼ毎日利用	62	29.2%	13	19.7%	75	27.0%
	週に2～3回利用	49	23.1%	21	31.8%	70	25.2%
	週に1回程度は利用	34	16.0%	13	19.7%	47	16.9%
	月に1～2回程度利用	40	18.9%	13	19.7%	53	19.1%
	ほとんど利用しない	27	12.7%	6	9.1%	33	11.9%
	計	212	100.0%	66	100.0%	278	100.0%
書籍部	ほぼ毎日利用	3	1.4%	0	0.0%	3	1.1%
	週に2～3回利用	1	0.5%	0	0.0%	1	0.4%
	週に1回程度は利用	3	1.4%	1	1.5%	4	1.4%
	月に1～2回程度利用	30	14.2%	6	9.0%	36	12.9%
	ほとんど利用しない	175	82.5%	60	89.6%	235	84.2%
	計	212	100.0%	67	100.0%	279	100.0%

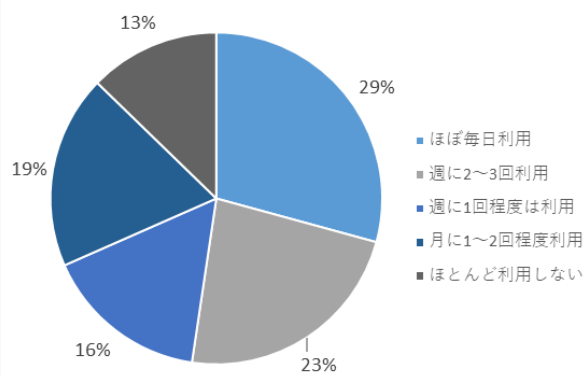
食堂の利用頻度（医学科）



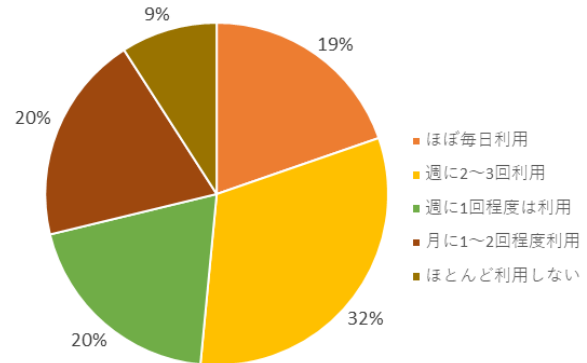
食堂の利用頻度（看護学科）



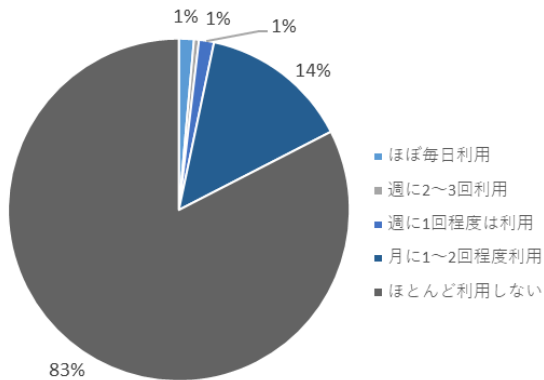
購買部の利用頻度（医学科）



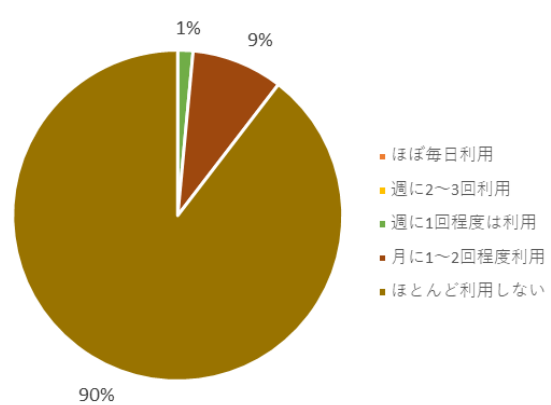
購買部の利用頻度（看護学科）



書籍部の利用頻度（医学科）



書籍部の利用頻度（看護学科）

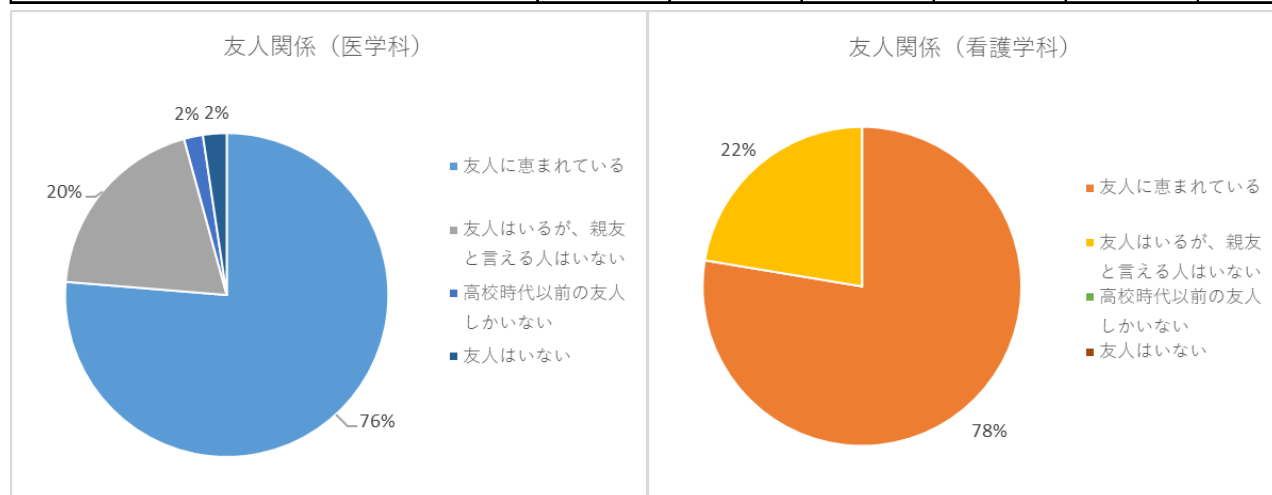


Ⅲ. 交友関係について

両学科ともに約 8 割の学生が友人に恵まれていると回答しており、プライベートなことについて相談しやすい人は、「友人、恋人」が最も多く、次いで「家族」との回答が多かった。

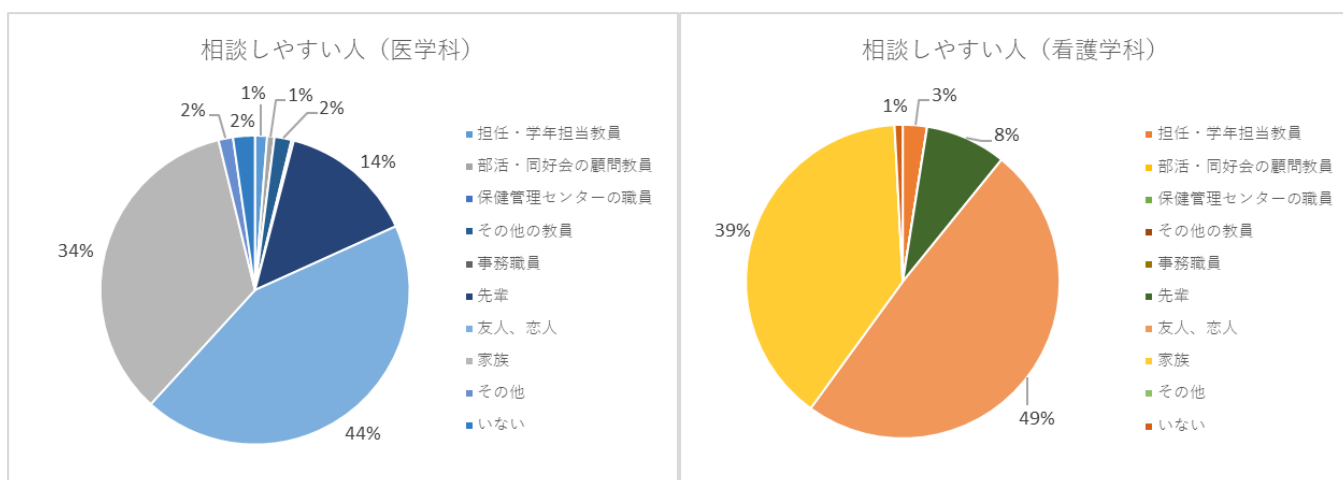
(友人の有無)

	医学科		看護学科		計	
友人に恵まれている	161	76.3%	52	77.6%	213	76.6%
友人はいるが、親友と言える人はいない	41	19.4%	15	22.4%	56	20.1%
高校時代以前の友人しかいない	4	1.9%	0	0.0%	4	1.4%
友人はいない	5	2.4%	0	0.0%	5	1.8%
計	211	100.0%	67	100.0%	278	100.0%



(相談しやすい人 (複数回答))

	医学科		看護学科		計	
担任・学年担当教員	5	1.3%	3	2.5%	8	1.6%
部活・同好会の顧問教員	3	0.8%	0	0.0%	3	0.6%
保健管理センターの職員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他の教員	7	1.8%	0	0.0%	7	1.4%
事務職員	1	0.3%	0	0.0%	1	0.2%
先輩	56	14.2%	10	8.3%	66	12.8%
友人、恋人	172	43.5%	59	49.2%	231	44.9%
家族	136	34.4%	47	39.2%	183	35.5%
その他	6	1.5%	0	0.0%	6	1.2%
いない	9	2.3%	1	0.8%	10	1.9%
計	395	100.0%	120	100.0%	515	100.0%

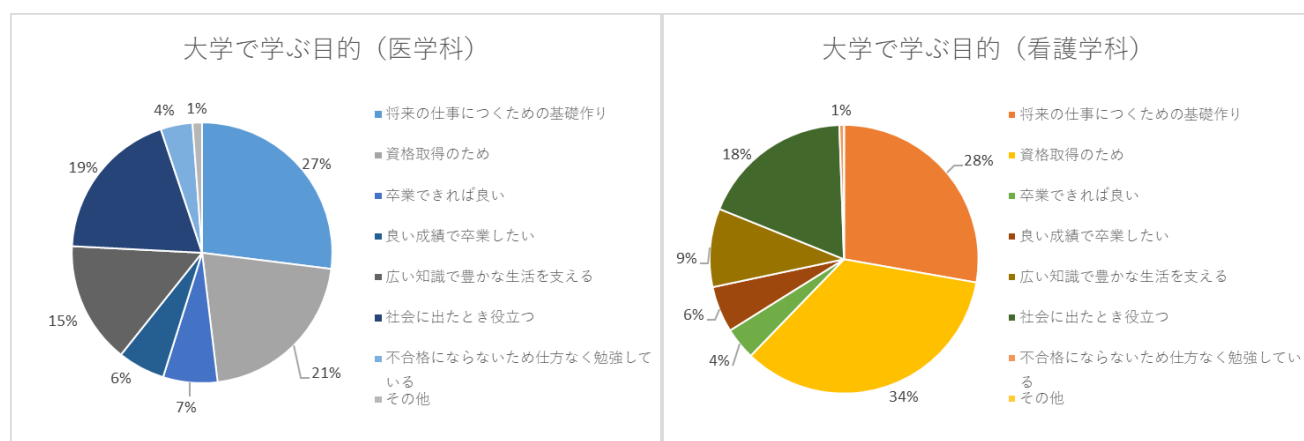


Ⅳ. 学業について

＜大学で学ぶ目的＞（複数回答）

大学で学ぶ目的を問う設問では、両学科とも「将来の仕事につくための基礎作り」「資格取得のため」の順に多かった。卒業後を見据え、明確な目的を持って学業に取り組む学生が多いようであった。

	医学科		看護学科		計	
将来の仕事につくための基礎作り	184	27.0%	50	27.8%	234	27.1%
資格取得のため	144	21.1%	62	34.4%	206	23.9%
卒業できれば良い	46	6.7%	7	3.9%	53	6.1%
良い成績で卒業したい	40	5.9%	10	5.6%	50	5.8%
広い知識で豊かな生活を支える	103	15.1%	17	9.4%	120	13.9%
社会に出たとき役立つ	130	19.1%	33	18.3%	163	18.9%
不合格にならないため仕方なく勉強している	27	4.0%	1	0.6%	28	3.2%
その他	8	1.2%	0	0.0%	8	0.9%
計	682	100.0%	180	100.0%	862	100.0%



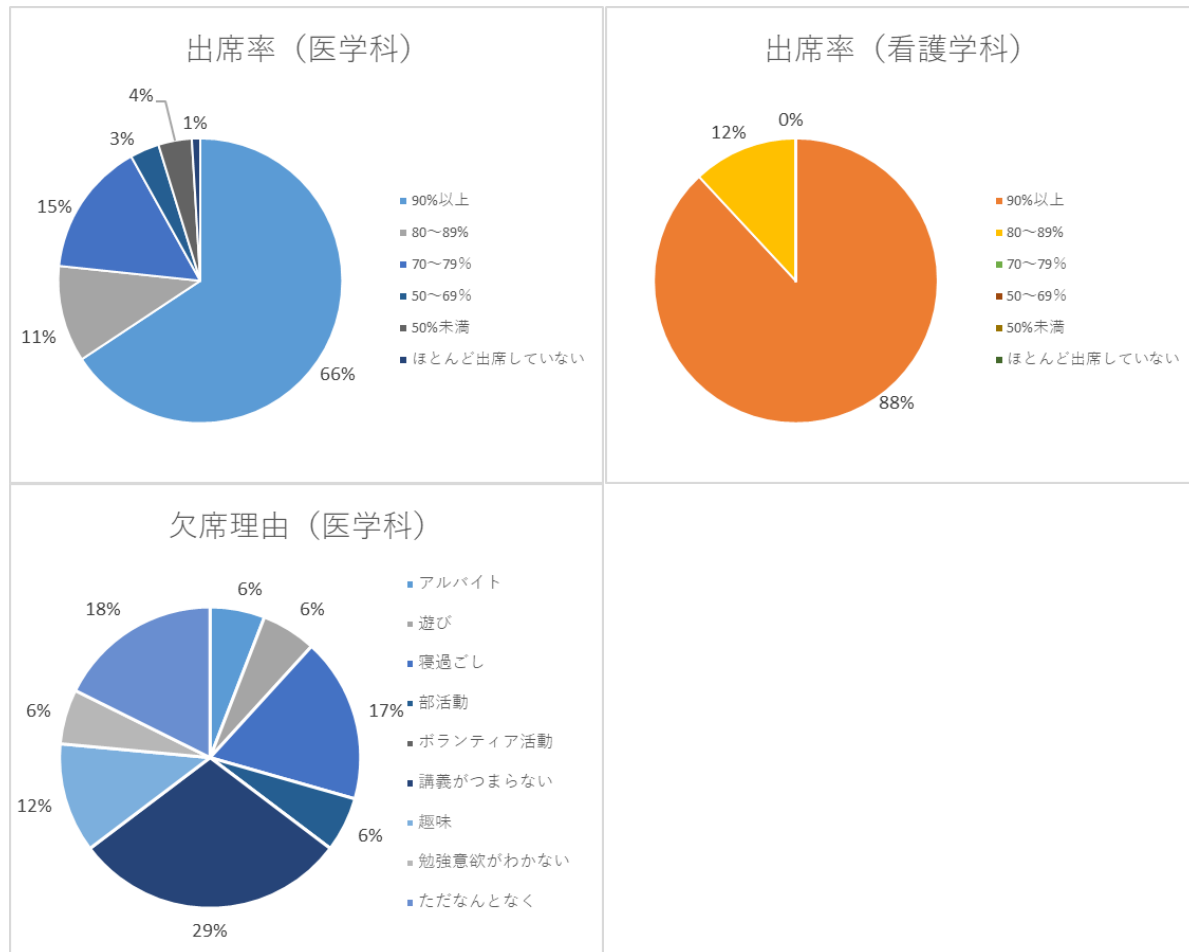
＜授業の欠席について＞

医学科では約 7 割、看護学科では約 9 割の学生が 90%以上授業に出席していると回答し、看護学科に比べて医学科の方が授業の欠席率は高いことがうかがえる。欠席理由は、医学科では「講義がつまらない」の割合が高くなっている。また、自らの欠席についてどう考えるかという問いに対しては、両学科とも「うしろめたい」「自分の責任」の合計が 7 割を超えた。欠席した授業のキャッチアップ方法としては、両学科とも「友人に聞く」との回答が最も多いが、「教員に聞く」の回答が非常に少ない。また、医学科では看護学科よりも「教科書等で自主学習」を行う割合が高かった。

		医学科		看護学科		計	
出席率	90%以上	138	65.7%	59	88.1%	197	71.1%
	80～89%	23	11.0%	8	11.9%	31	11.2%
	70～79%	32	15.2%	0	0.0%	32	11.6%
	50～69%	7	3.3%	0	0.0%	7	2.5%
	50%未満	8	3.8%	0	0.0%	8	2.9%
	ほとんど出席していない	2	1.0%	0	0.0%	2	0.7%
	計	210	100.0%	67	100.0%	277	100.0%
欠席理由	アルバイト	1	5.9%			1	5.9%
	遊び	1	5.9%			1	5.9%
	寝過ごし	3	17.6%			3	17.6%
	部活動	1	5.9%			1	5.9%
	ボランティア活動	0	0.0%			0	0.0%
	講義がつまらない	5	29.4%			5	29.4%
	趣味	2	11.8%			2	11.8%
	勉強意欲がわからない	1	5.9%			1	5.9%
	ただなんとなく	3	17.6%			3	17.6%
	計	17	100.0%			17	100.0%

※欠席理由における看護学科の回答はなかった。

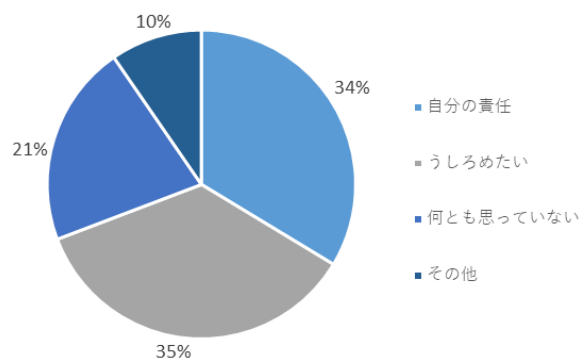
(出席率・欠席理由)



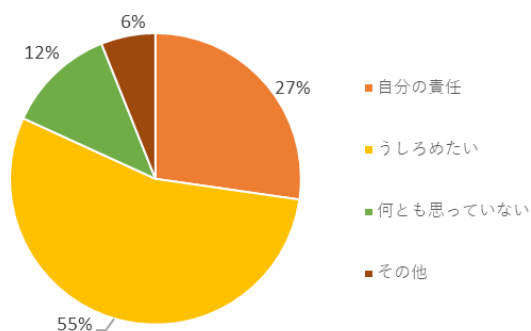
(欠席についての意識・キャッチアップ方法)

		医学科		看護学科		計	
欠席について	自分の責任	70	33.7%	18	27.3%	88	32.1%
	うしろめたい	74	35.6%	36	54.5%	110	40.1%
	何とも思っていない	44	21.2%	8	12.1%	52	19.0%
	その他	20	9.6%	4	6.1%	24	8.8%
	計	208	100.0%	66	100.0%	274	100.0%
キャッチアップ	友人に聞いた	99	48.5%	48	76.2%	147	55.1%
	教員に聞いた	2	1.0%	2	3.2%	4	1.5%
	プリントを読んだ	29	14.2%	7	11.1%	36	13.5%
	教科書等で自主学習	66	32.4%	5	7.9%	71	26.6%
	何もしなかった	8	3.9%	1	1.6%	9	3.4%
	計	204	100.0%	63	100.0%	267	100.0%

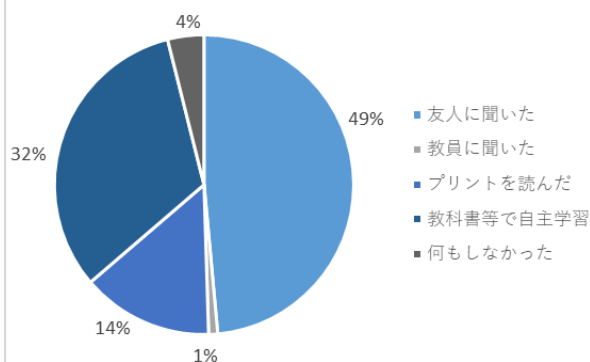
欠席についての所感（医学科）



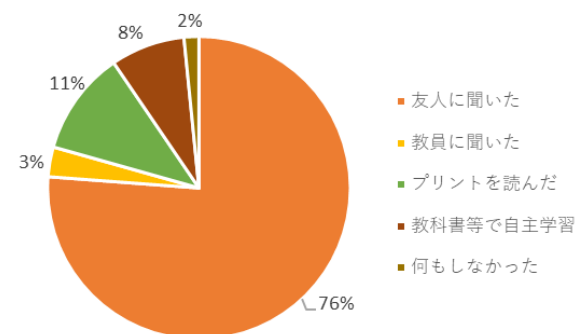
欠席についての所感（看護学科）



キャッチアップ（医学科）



キャッチアップ（看護学科）

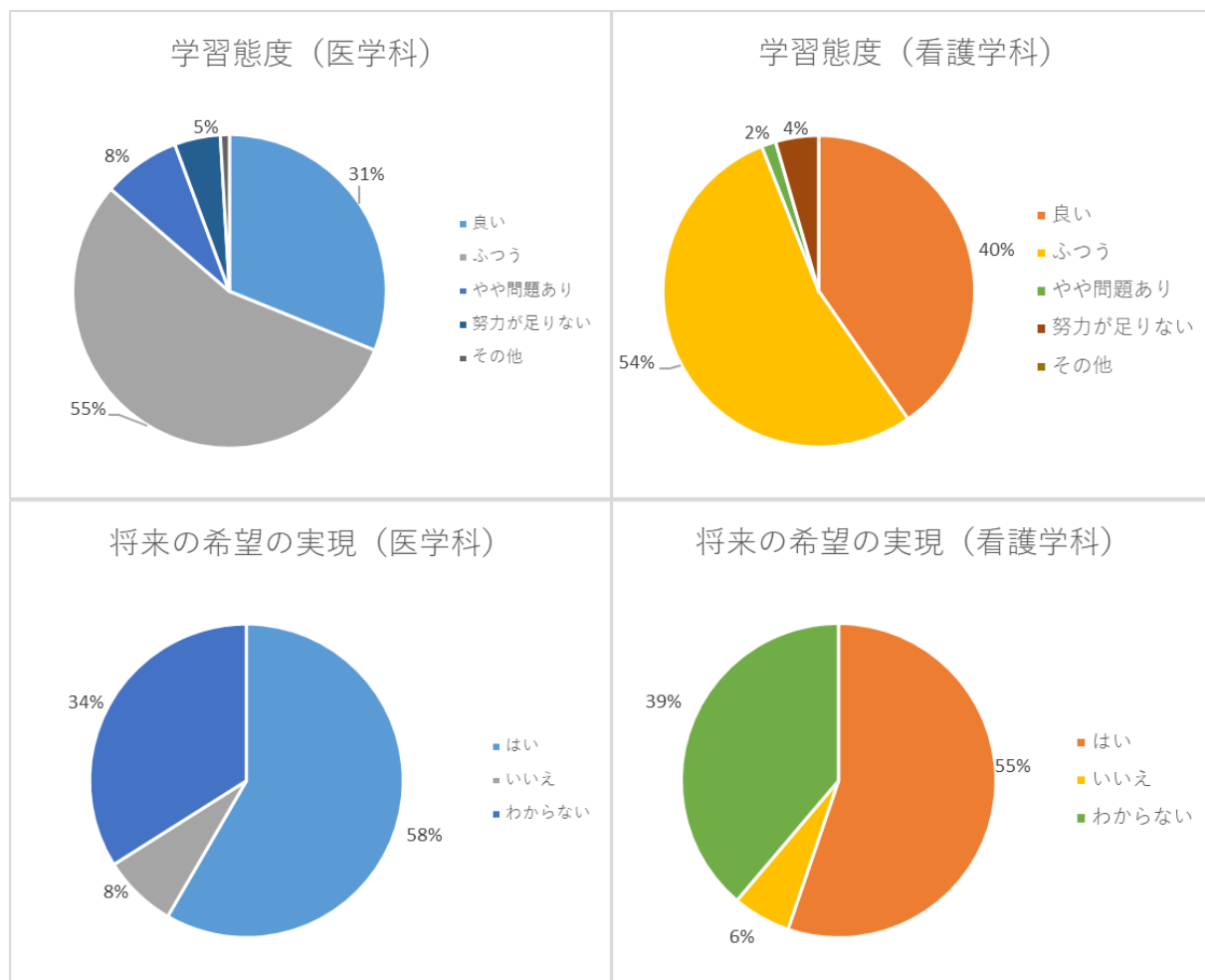


<学習態度について>

自らの学習態度について自己評価を行う設問では、両学科とも「ふつう」が約5割、次いで「良い」が医学科では約3割、看護学科では約4割を占めている。一方で、現在の学習態度で将来の希望実現について、両学科の5～6割が「はい」と回答した。

(学習態度の自己評価・将来の希望実現)

		医学科		看護学科		計	
学習態度	良い	66	31.1%	27	40.3%	93	33.3%
	ふつう	117	55.2%	36	53.7%	153	54.8%
	やや問題あり	17	8.0%	1	1.5%	18	6.5%
	努力が足りない	10	4.7%	3	4.5%	13	4.7%
	その他	2	0.9%	0	0.0%	2	0.7%
	計	212	100.0%	67	100.0%	279	100.0%
希望実現	はい	122	58.4%	37	55.2%	159	57.6%
	いいえ	16	7.7%	4	6.0%	20	7.2%
	わからない	71	34.0%	26	38.8%	97	35.1%
	計	209	100.0%	67	100.0%	276	100.0%



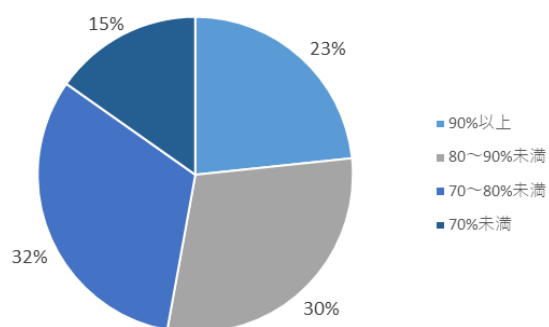
<授業内容の理解>

授業内容については、両学科とも大半の学生は理解できているようであるが、理解度は70%未満であると回答した学生が医学科では約2割、看護学科においてもわずかながら存在している。授業内容が理解できない場合では、「友人や先輩に聞く」「自分で勉強する」を合わせると両学科とも約9割を占めた。教員に質問しない理由としては「質問しにくい雰囲気」「聞きに行こうと思わない」が多く挙げられた。

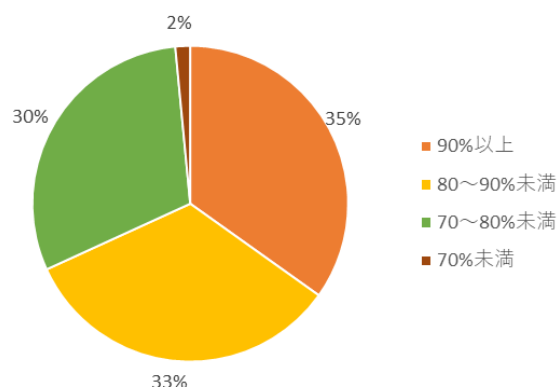
(授業内容の理解等)

		医学科		看護学科		計	
理解 できる 割合	90%以上	49	23.3%	23	34.8%	72	26.1%
	80～90%未満	62	29.5%	22	33.3%	84	30.4%
	70～80%未満	67	31.9%	20	30.3%	87	31.5%
	70%未満	32	15.2%	1	1.5%	33	12.0%
	計	210	100.0%	66	100.0%	276	100.0%
理解 できない 場合	授業中に聞く	17	8.1%	3	4.5%	20	7.2%
	授業後に聞く	9	4.3%	3	4.5%	12	4.3%
	友人や先輩に聞く	97	46.2%	37	56.1%	134	48.6%
	自分で勉強する	87	41.4%	23	34.8%	110	39.9%
	計	210	100.0%	66	100.0%	276	100.0%
質問 しない 理由	忙しそう	57	30.0%	8	13.1%	65	25.9%
	質問しにくい雰囲気	60	31.6%	29	47.5%	89	35.5%
	質問すると怒られそう	5	2.6%	2	3.3%	7	2.8%
	連絡方法がわからない	3	1.6%	1	1.6%	4	1.6%
	聞きに行こうと思わない	65	34.2%	21	34.4%	86	34.3%
	計	190	100.0%	61	100.0%	251	100.0%

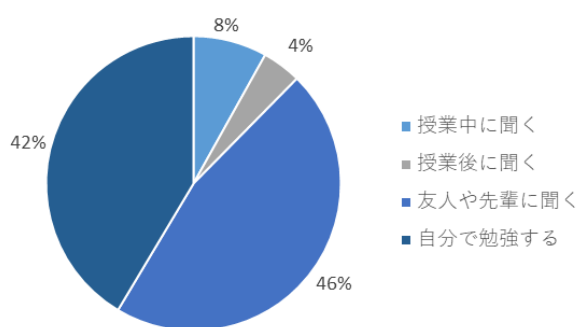
理解できる割合（医学科）



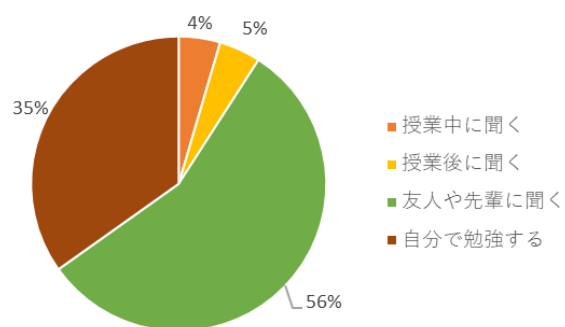
理解できる割合（看護学科）



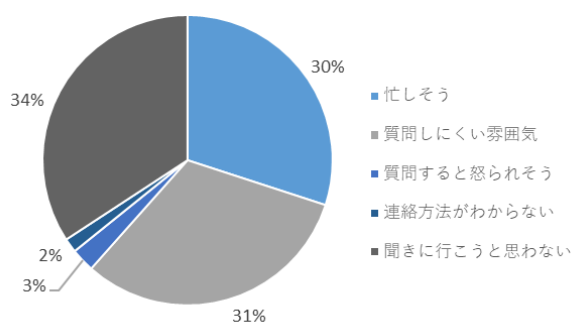
理解できない場合（医学科）



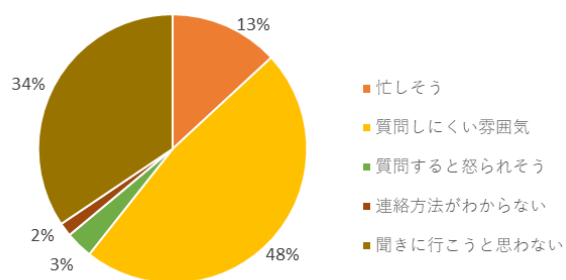
理解できない場合（看護学科）



教員に質問しない理由（医学科）



教員に質問しない理由（看護学科）



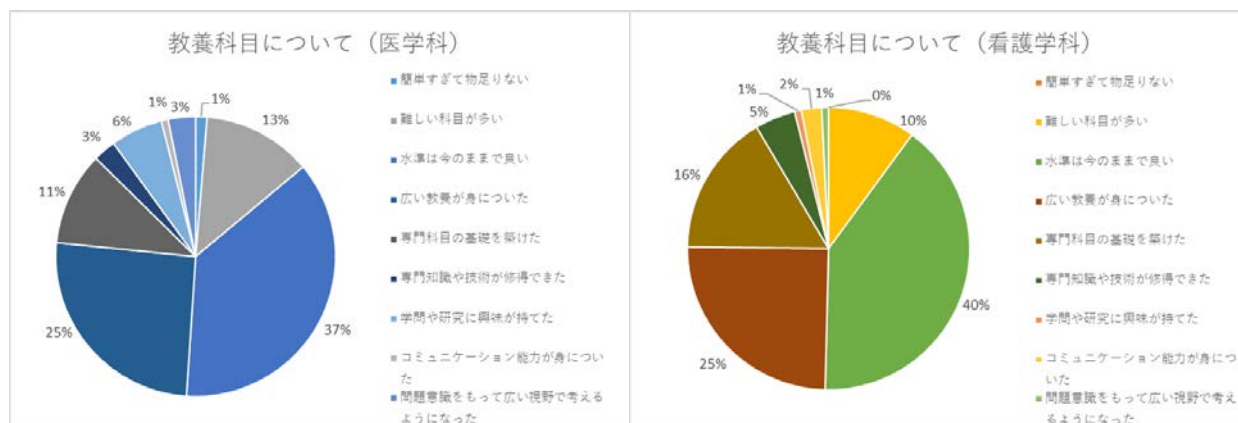
＜授業の水準＞

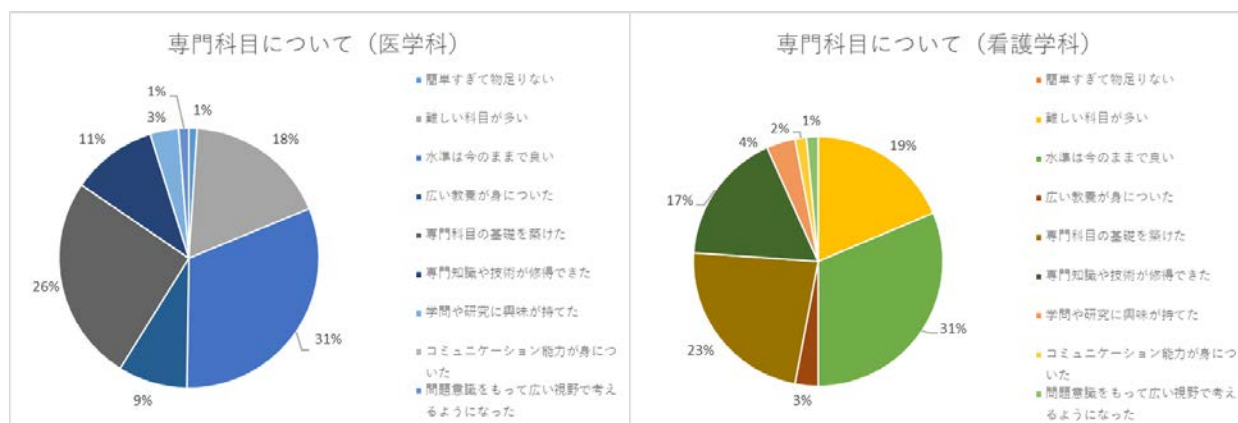
昨年度履修した教養科目について、「水準は今のままで良い」が両学科ともに約4割であり、次いで「難しい科目が多い」という回答が約1割であった。昨年度履修した専門科目についても、両学科とも「水準は今のままで良い」が最も多かった。

昨年度履修した科目で得られたものについては、教養科目では、両学科とも、「広い教養が身についた」が最も多く、専門科目では、「専門科目の基礎を築けた」の回答が最も多かった。

(昨年度履修した科目について(当てはまらない場合は回答無し))(複数回答)

		医学科		看護学科		計	
教養	簡単すぎて物足りない	5	1.3%	0	0.0%	5	1.0%
	難しい科目が多い	48	12.6%	13	10.1%	61	12.0%
	水準は今のままで良い	141	37.1%	52	40.3%	193	37.9%
	広い教養が身についた	97	25.5%	32	24.8%	129	25.3%
	専門科目の基礎を築けた	41	10.8%	21	16.3%	62	12.2%
	専門知識や技術が修得できた	10	2.6%	6	4.7%	16	3.1%
	学問や研究に興味を持てた	23	6.1%	1	0.8%	24	4.7%
	コミュニケーション能力が身についた	3	0.8%	3	2.3%	6	1.2%
	問題意識をもって広い視野で考えるようになった	12	3.2%	1	0.8%	13	2.6%
	計	380	100.0%	129	100.0%	509	100.0%
専門	簡単すぎて物足りない	4	1.0%	0	0.0%	4	0.8%
	難しい科目が多い	70	17.8%	25	18.7%	95	18.0%
	水準は今のままで良い	124	31.5%	42	31.3%	166	31.4%
	広い教養が身についた	34	8.6%	4	3.0%	38	7.2%
	専門科目の基礎を築けた	101	25.6%	31	23.1%	132	25.0%
	専門知識や技術が修得できた	42	10.7%	23	17.2%	65	12.3%
	学問や研究に興味を持てた	14	3.6%	5	3.7%	19	3.6%
	コミュニケーション能力が身についた	0	0.0%	2	1.5%	2	0.4%
	問題意識をもって広い視野で考えるようになった	5	1.3%	2	1.5%	7	1.3%
	計	394	100.0%	134	100.0%	528	100.0%





＜自己学習＞

自己学習の程度については、医学科では「復習のみ」、看護学科では「課題が出た時のみ」の割合が高く、1日の自主学習時間では1時間以上勉強している割合が医学科の方で約6割、看護学科で約3割となった。なお、試験期間の1日の学習時間が「3時間以上」に割合は医学科が約9割、看護学科が約8割であった。

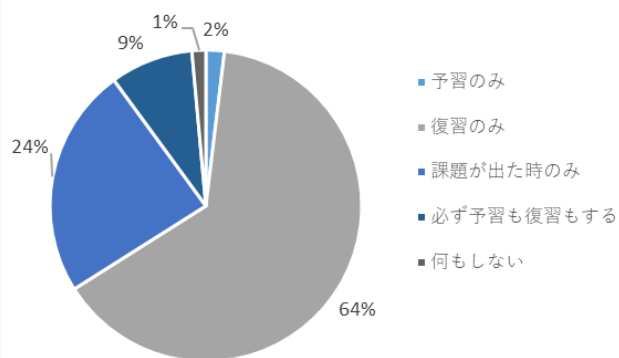
自己学習のために使用する場所については、「自宅」と回答した学生が医学科で約4割、看護学科で8割であり、「図書館」と回答した学生は医学科で約4割、看護学科では1割と、看護学科の学生は比較的自宅で学習する割合が高く、図書館の利用率はやや低いようである。

また、調べ物の情報源について、両学科とも「インターネット」の回答が最も多かった。さらに、1日のレポート作成時間を問う設問では、医学科よりも看護学科の方がレポート作成に時間を費やしている傾向があった。

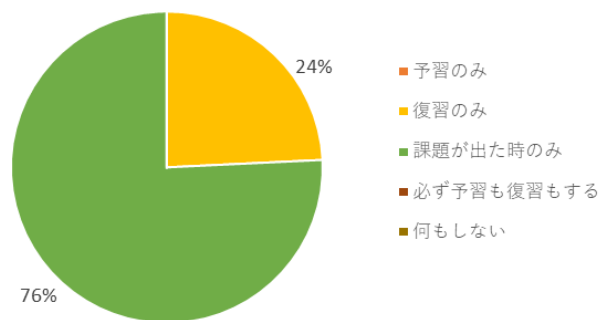
(自己学習の程度・場所等)

		医学科		看護学科		計	
自己学習 程度	予習のみ	4	1.9%	0	0.0%	4	1.5%
	復習のみ	134	64.1%	16	24.2%	150	54.5%
	課題が出た時のみ	50	23.9%	50	75.8%	100	36.4%
	必ず予習も復習もする	18	8.6%	0	0.0%	18	6.5%
	何もしない	3	1.4%	0	0.0%	3	1.1%
	計	209	100.0%	66	100.0%	275	100.0%
自己学習 場所	自宅	93	44.1%	54	80.6%	147	52.9%
	図書館	77	36.5%	7	10.4%	84	30.2%
	図書館以外の学内施設	31	14.7%	5	7.5%	36	12.9%
	その他	10	4.7%	1	1.5%	11	4.0%
	計	211	100.0%	67	100.0%	278	100.0%
調べ物 情報源	教科書・参考書	87	41.2%	17	25.4%	104	37.4%
	インターネット	116	55.0%	50	74.6%	166	59.7%
	教員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	友人・先輩	8	3.8%	0	0.0%	8	2.9%
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	計	211	100.0%	67	100.0%	278	100.0%

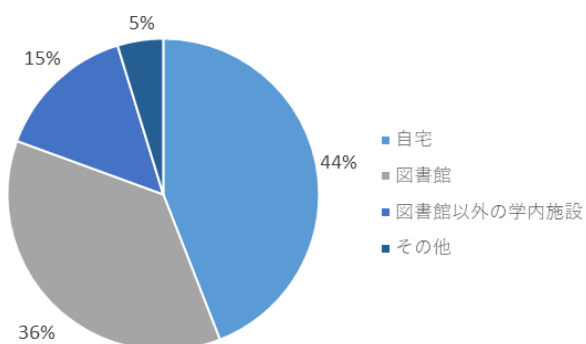
自己学習の程度（医学科）



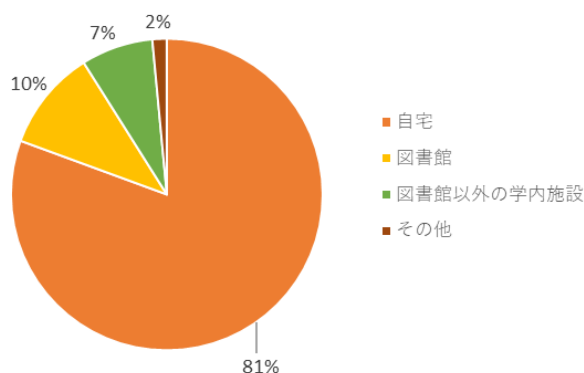
自己学習の程度（看護学科）



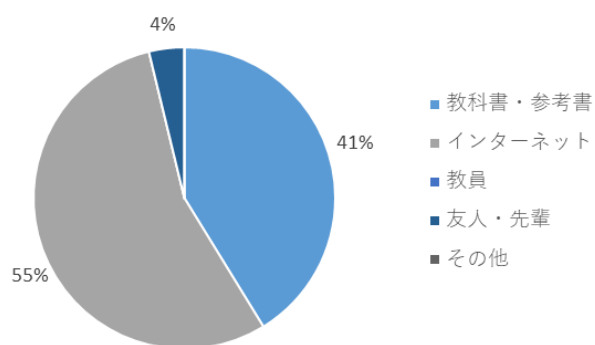
自己学習場所（医学科）



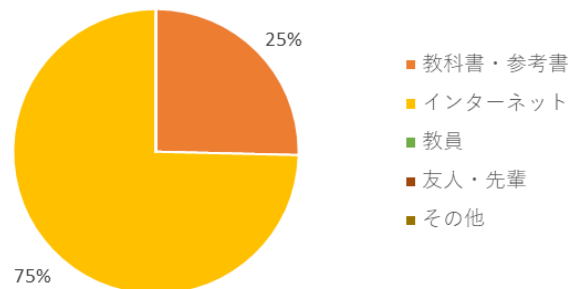
自己学習場所（看護学科）



調べ物の情報源（医学科）



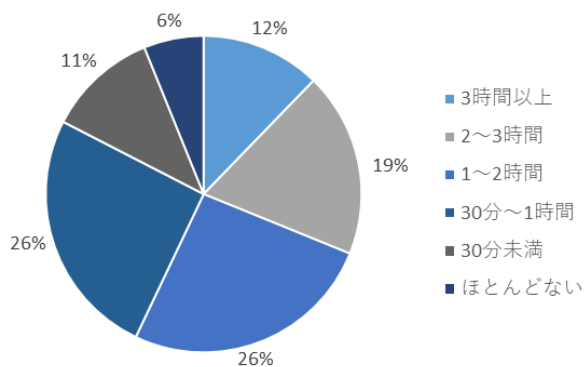
調べ物の情報源（看護学科）



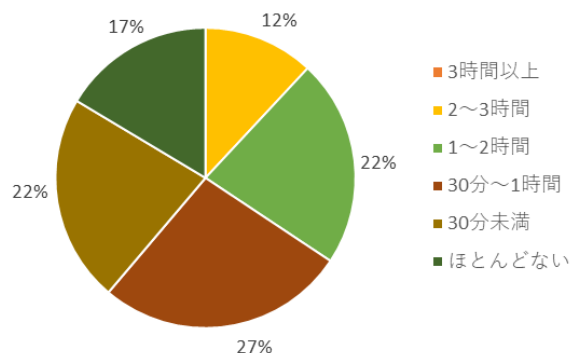
(授業以外の学習時間)

		医学科		看護学科		計	
授業以外	3時間以上	26	12.3%	0	0.0%	26	9.3%
	2～3時間	40	18.9%	8	11.9%	48	17.2%
	1～2時間	55	25.9%	15	22.4%	70	25.1%
	30分～1時間	54	25.5%	18	26.9%	72	25.8%
	30分未満	24	11.3%	15	22.4%	39	14.0%
	ほとんどない	13	6.1%	11	16.4%	24	8.6%
	計	212	100.0%	67	100.0%	279	100.0%
試験期間	3時間以上	196	93.3%	54	84.4%	250	91.2%
	2～3時間	8	3.8%	5	7.8%	13	4.7%
	1～2時間	4	1.9%	3	4.7%	7	2.6%
	30分～1時間	1	0.5%	1	1.6%	2	0.7%
	30分未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	ほとんどない	1	0.5%	1	1.6%	2	0.7%
	計	210	100.0%	64	100.0%	274	100.0%

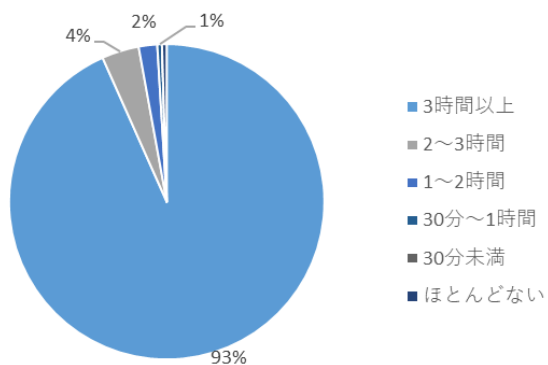
授業以外の学習時間（医学科）



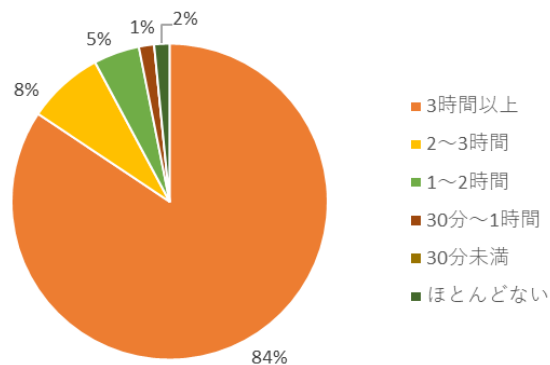
授業以外の学習時間（看護学科）



試験期間の学習時間（医学科）



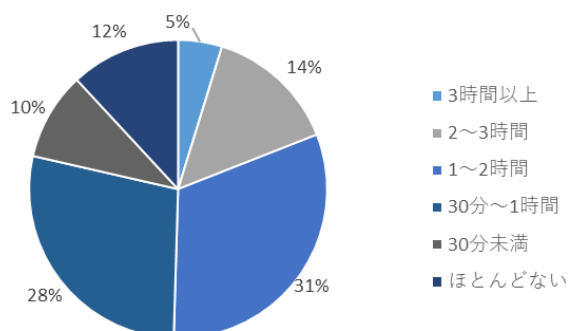
試験期間の学習時間（看護学科）



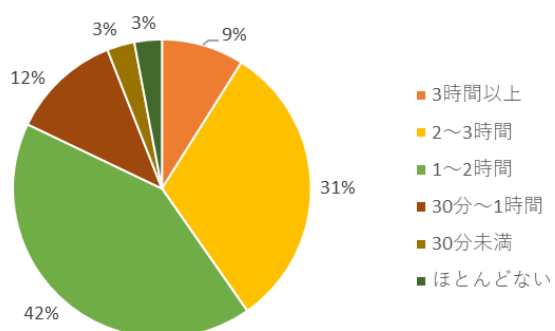
（1日のレポート作成時間）

		医学科		看護学科		計	
レポート	3時間以上	10	4.8%	6	9.0%	16	5.8%
	2～3時間	30	14.3%	21	31.3%	51	18.4%
	1～2時間	66	31.4%	28	41.8%	94	33.9%
	30分～1時間	59	28.1%	8	11.9%	67	24.2%
	30分未満	20	9.5%	2	3.0%	22	7.9%
	ほとんどない	25	11.9%	2	3.0%	27	9.7%
	計	210	100.0%	67	100.0%	277	100.0%

1日のレポート作成時間（医学科）



1日のレポート作成時間（看護学科）



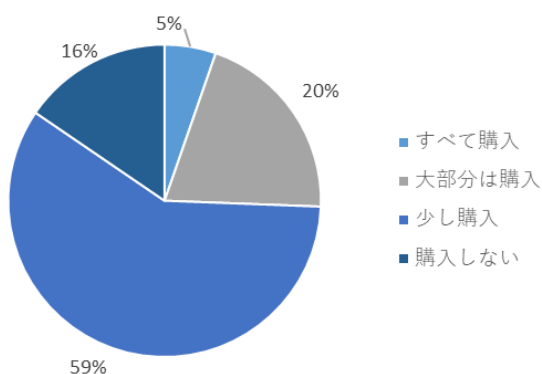
＜教材・参考書等の活用＞

教科書の購入率は、医学科では「少し購入」回答が最も多く、看護学科では約4割の学生が「すべて購入」と回答していることから、医学科の教科書購入率は看護学科よりも低いことが分かる。教科書を購入しない理由として、医学科では「高価である」、看護学科では「なくても授業が理解できる」の回答割合が高かった。また、講義概要の使用状況について、両学科とも「授業日程等の確認に利用」が最も多かった。

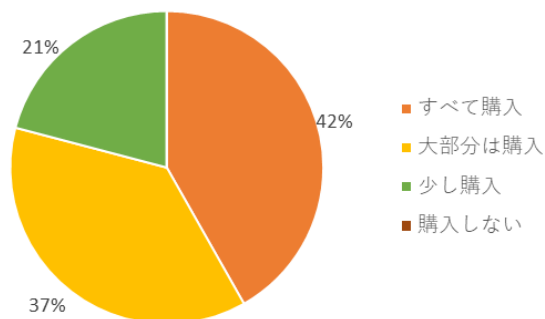
（教科書等の購入率）

		医学科		看護学科		計	
購入率	すべて購入	11	5.3%	28	41.8%	39	14.2%
	大部分は購入	42	20.3%	25	37.3%	67	24.5%
	少し購入	122	58.9%	14	20.9%	136	49.6%
	購入しない	32	15.5%	0	0.0%	32	11.7%
	計	207	100.0%	67	100.0%	274	100.0%
購入しない理由	高価である	88	47.8%	15	38.5%	103	46.2%
	なくても授業が理解できる	37	20.1%	16	41.0%	53	23.8%
	先輩や友人の本を利用	54	29.3%	8	20.5%	62	27.8%
	図書館等の本を利用	5	2.7%	0	0.0%	5	2.2%
	計	184	100.0%	39	100.0%	223	100.0%

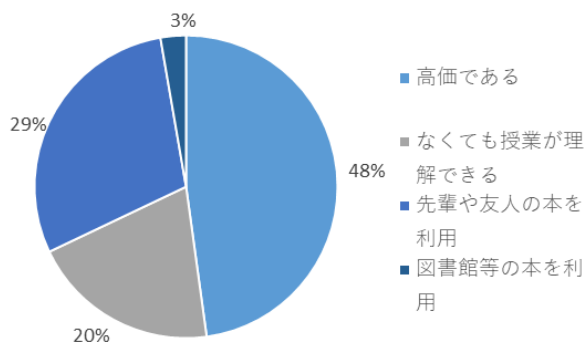
教科書等の購入率（医学科）



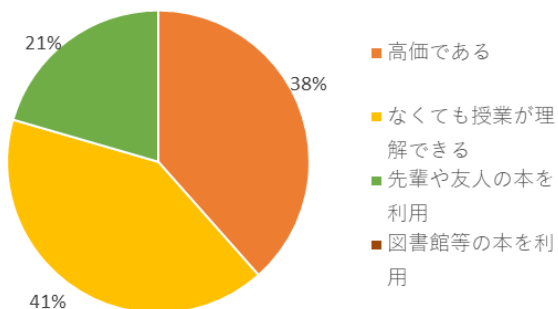
教科書等の購入率（看護学科）



購入しない理由（医学科）



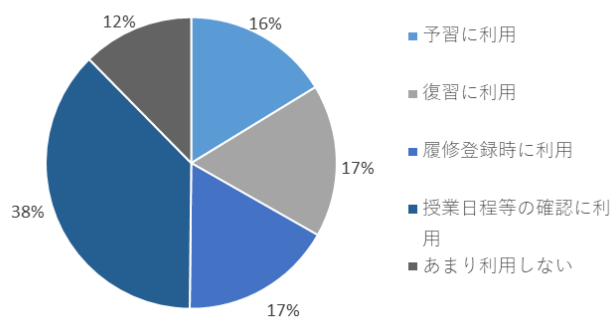
購入しない理由（看護学科）



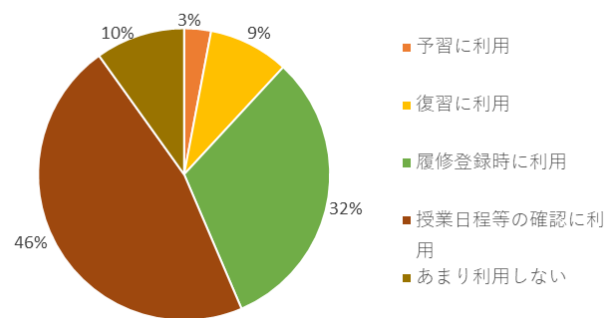
（講義概要の使用状況）（複数回答）

	医学科		看護学科		計	
予習に利用	50	16.3%	3	3.0%	53	13.0%
復習に利用	52	16.9%	9	8.9%	61	15.0%
履修登録時に利用	52	16.9%	32	31.7%	84	20.6%
授業日程等の確認に利用	115	37.5%	47	46.5%	162	39.7%
あまり利用しない	38	12.4%	10	9.9%	48	11.8%
計	307	100.0%	101	100.0%	408	100.0%

講義概要の利用状況（医学科）



講義概要の利用状況（看護学科）



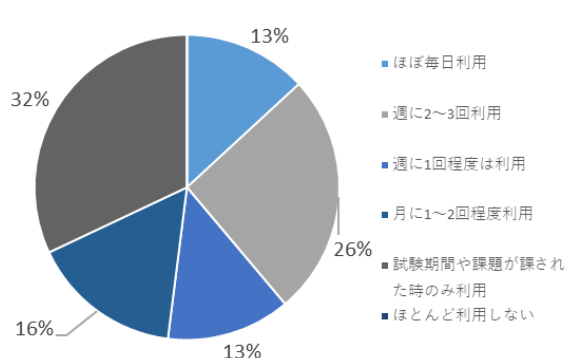
V. 図書館の利用について

図書館の利用率は、月に1回以上利用している学生が医学科では約7割、看護学科では約3割となった。また、MMCの利用率は、月に1回以上利用している学生が両学科とも約3割となった。

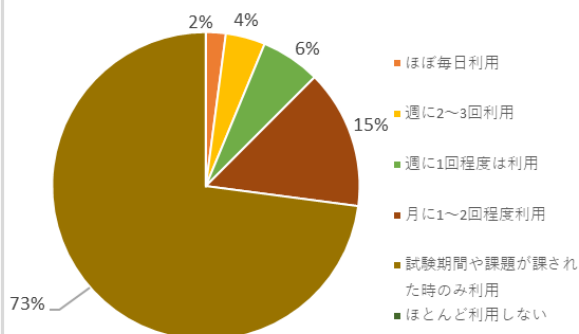
(図書館・MMC利用率)

		医学科		看護学科		計	
図書館	ほぼ毎日利用	23	13.1%	1	2.1%	24	10.8%
	週に2～3回利用	45	25.7%	2	4.2%	47	21.1%
	週に1回程度は利用	23	13.1%	3	6.3%	26	11.7%
	月に1～2回程度利用	28	16.0%	7	14.6%	35	15.7%
	試験期間や課題が課された時のみ利用	56	32.0%	35	72.9%	91	40.8%
	ほとんど利用しない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	計	175	100.0%	48	100.0%	223	100.0%
MMC	ほぼ毎日利用	7	3.3%	0	0.0%	7	2.5%
	週に2～3回利用	13	6.1%	3	4.5%	16	5.7%
	週に1回程度は利用	10	4.7%	4	6.0%	14	5.0%
	月に1～2回程度利用	33	15.6%	9	13.4%	42	15.1%
	試験期間や課題が課された時のみ利用	39	18.4%	17	25.4%	56	20.1%
	授業で利用するのみ	47	22.2%	25	37.3%	72	25.8%
	ほとんど利用しない	63	29.7%	9	13.4%	72	25.8%
	計	212	100.0%	67	100.0%	279	100.0%

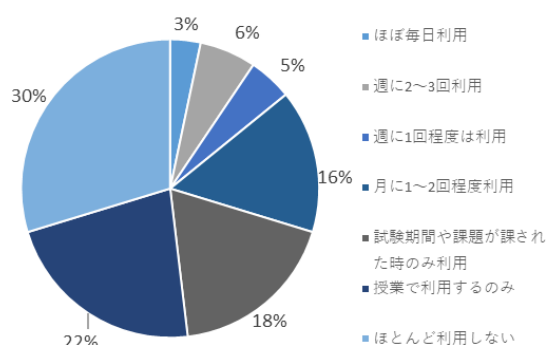
図書館利用率（医学科）



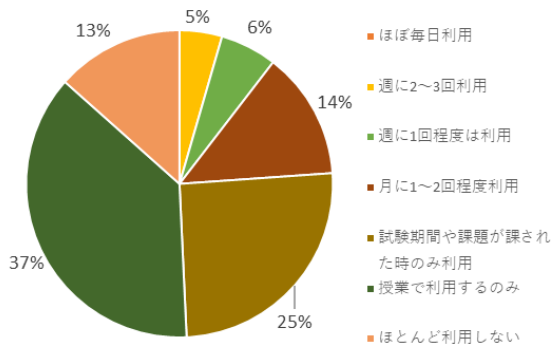
図書館利用率（看護学科）



MMC利用率（医学科）



MMC利用率（看護学科）

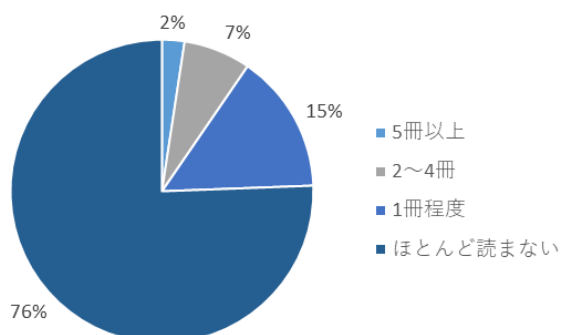


<読書習慣>

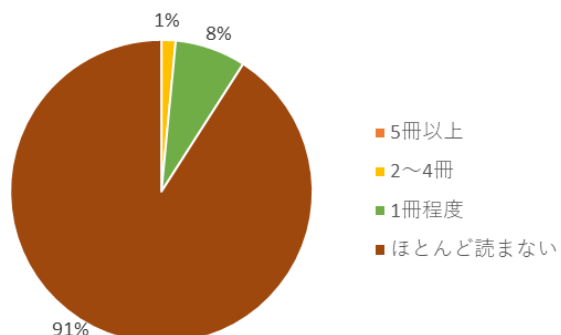
専門書は「ほとんど読まない」と回答した学生が医学科では7割を、看護学科では9割を超えており、教養書についても「ほとんど読まない」か、読んだ場合でも月に「1冊程度」の学生が医学科では約8割、看護学科では約9割の結果であった。

		医学科		看護学科		計	
専門書	5冊以上	5	2.4%	0	0.0%	5	1.8%
	2～4冊	15	7.2%	1	1.5%	16	5.8%
	1冊程度	31	14.8%	5	7.6%	36	13.1%
	ほとんど読まない	158	75.6%	60	90.9%	218	79.3%
	計	209	100.0%	66	100.0%	275	100.0%
教養書	5冊以上	16	7.6%	2	3.0%	18	6.5%
	2～4冊	33	15.7%	3	4.5%	36	13.0%
	1冊程度	56	26.7%	19	28.4%	75	27.1%
	ほとんど読まない	105	50.0%	43	64.2%	148	53.4%
	計	210	100.0%	67	100.0%	277	100.0%

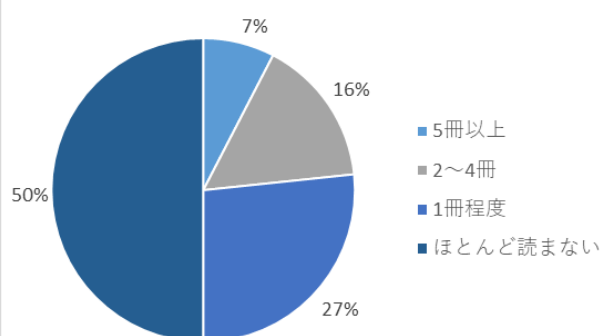
専門書（医学科）



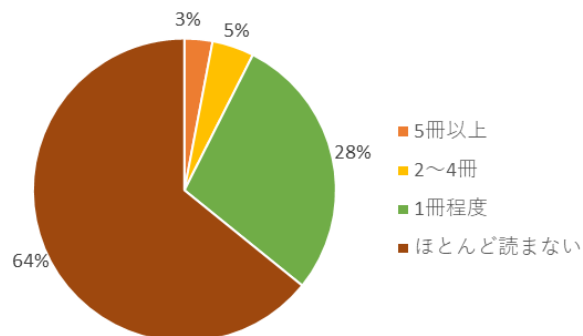
専門書（看護学科）



教養書（医学科）



教養書（看護学科）



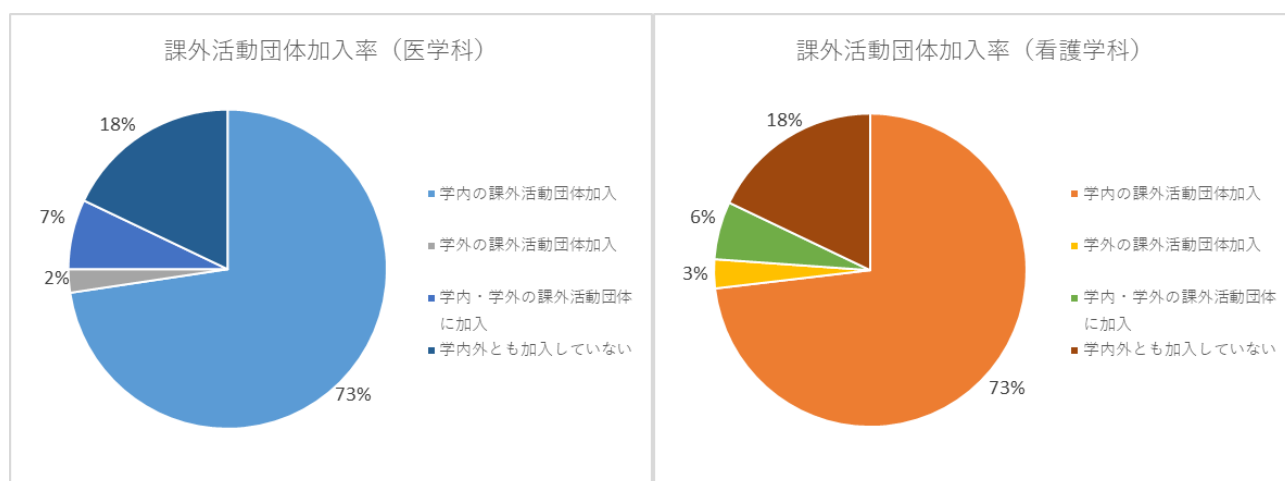
VI. 課外活動について

<課外活動団体について>

本学学生の課外活動団体加入率は両学科とも7割を超えている。所属理由の約半数は「活動内容に関心があった」ことである。一方、加入していない学生の主な理由としては、両学科ともに「時間がない」等の回答が多かった。

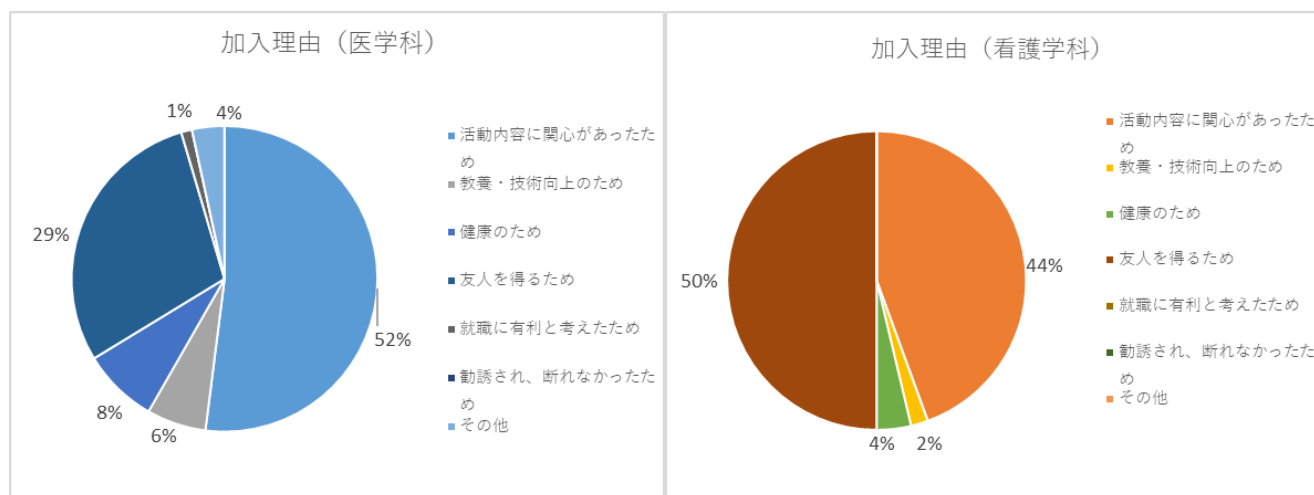
(課外活動団体加入率)

	医学科		看護学科		計	
学内の課外活動団体加入	154	72.6%	49	73.1%	203	72.8%
学外の課外活動団体加入	5	2.4%	2	3.0%	7	2.5%
学内・学外の課外活動団体に加入	15	7.1%	4	6.0%	19	6.8%
学内外とも加入していない	38	17.9%	12	17.9%	50	17.9%
計	212	100.0%	67	100.0%	279	100.0%



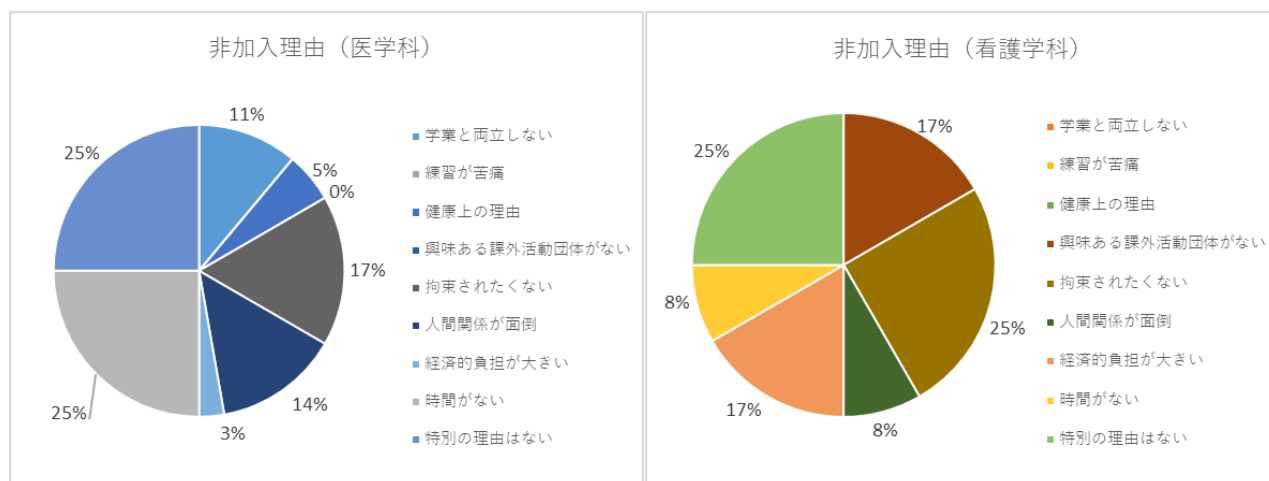
(加入の理由)

	医学科		看護学科		計	
活動内容に関心があったため	91	52.0%	24	44.4%	115	50.2%
教養・技術向上のため	11	6.3%	1	1.9%	12	5.2%
健康のため	14	8.0%	2	3.7%	16	7.0%
友人を得るため	51	29.1%	27	50.0%	78	34.1%
就職に有利と考えたため	2	1.1%	0	0.0%	2	0.9%
勧誘され、断れなかったため	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	6	3.4%	0	0.0%	6	2.6%
計	175	100.0%	54	100.0%	229	100.0%



（非加入の理由）

	医学科		看護学科		計	
学業と両立しない	4	11.1%	0	0.0%	4	8.3%
練習が苦痛	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
健康上の理由	2	5.6%	0	0.0%	2	4.2%
興味ある課外活動団体がない	0	0.0%	2	16.7%	2	4.2%
拘束されたくない	6	16.7%	3	25.0%	9	18.8%
人間関係が面倒	5	13.9%	1	8.3%	6	12.5%
経済的負担が大きい	1	2.8%	2	16.7%	3	6.3%
時間がない	9	25.0%	1	8.3%	10	20.8%
特別の理由はない	9	25.0%	3	25.0%	12	25.0%
計	36	100.0%	12	100.0%	48	100.0%



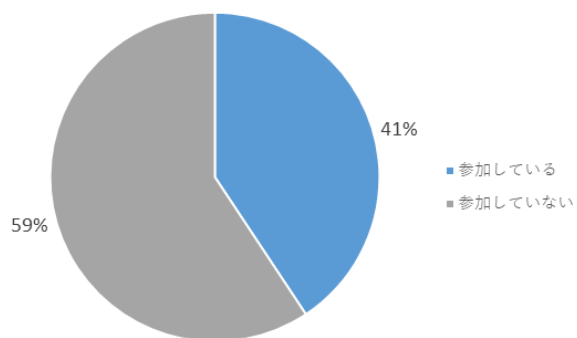
＜浜松医科大学との交流会・西医体・若鮎祭への参加率＞

浜医交流会の参加率は約 4 割に満たず、西医体の参加率は約 6 割となった。若鮎祭について、約 6 割の学生が参加している。

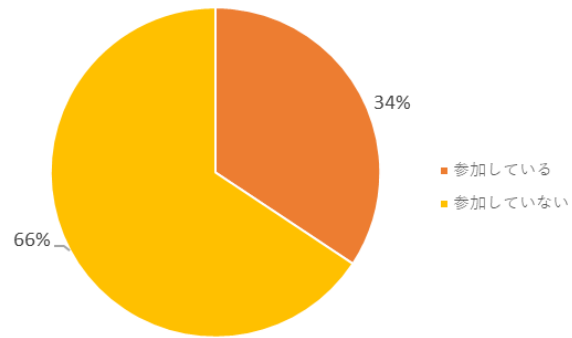
(浜医交流会・西医体参加率)

		医学科		看護学科		計	
浜医	参加している	83	40.7%	23	34.3%	106	39.1%
	参加していない	121	59.3%	44	65.7%	165	60.9%
	計	204	100.0%	67	100.0%	271	100.0%
西医体	参加している	118	57.8%	34	52.3%	152	56.5%
	参加していない	86	42.2%	31	47.7%	117	43.5%
	計	204	100.0%	65	100.0%	269	100.0%

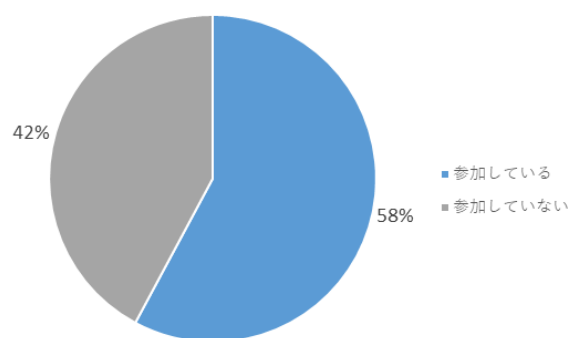
浜医交流会参加率（医学科）



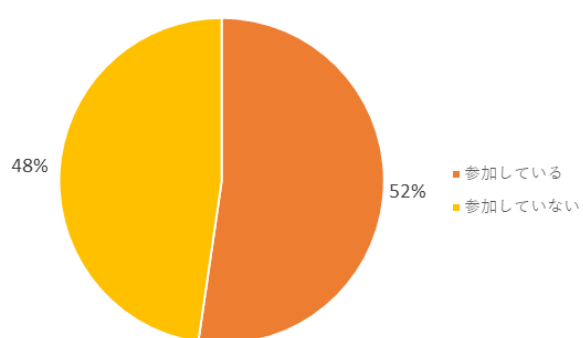
浜医交流会参加率（看護学科）



西医体参加率（医学科）

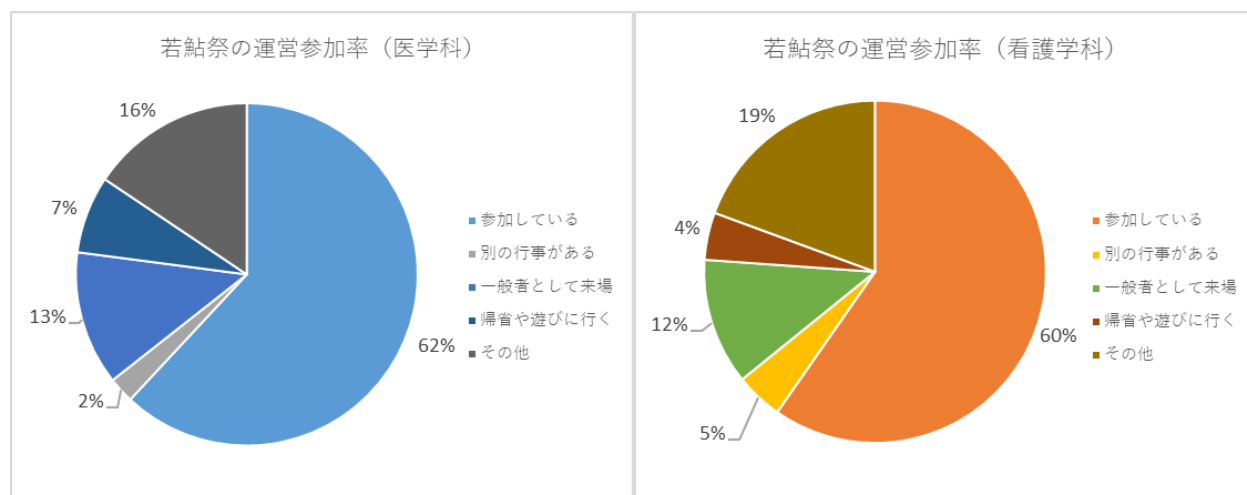


西医体参加率（看護学科）



(若鮎祭参加率)

	医学科		看護学科		計	
参加している	127	62.0%	40	59.7%	167	61.4%
別の行事がある	5	2.4%	3	4.5%	8	2.9%
一般者として来場	26	12.7%	8	11.9%	34	12.5%
帰省や遊びに行く	15	7.3%	3	4.5%	18	6.6%
その他	32	15.6%	13	19.4%	45	16.5%
計	205	100.0%	67	100.0%	272	100.0%

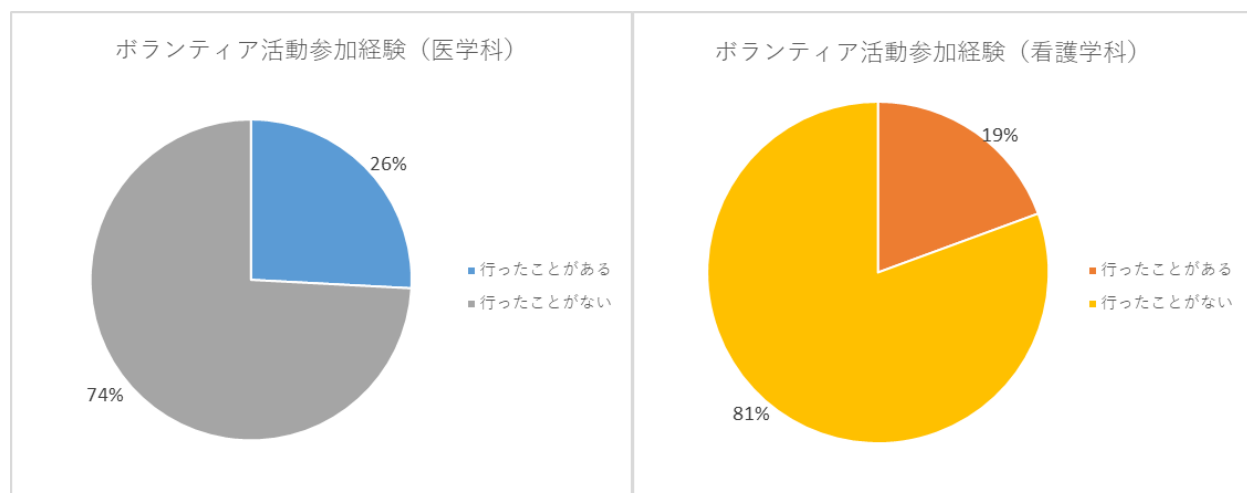


<ボランティア経験>

在学中にボランティアに携わったことがあると回答した学生は、両学科とも約 2 割であった。

(在学中のボランティア経験)

	医学科		看護学科		計	
行ったことがある	54	25.8%	13	19.4%	67	24.3%
行ったことがない	155	74.2%	54	80.6%	209	75.7%
計	209	100.0%	67	100.0%	276	100.0%



VII. 卒業後の進路について

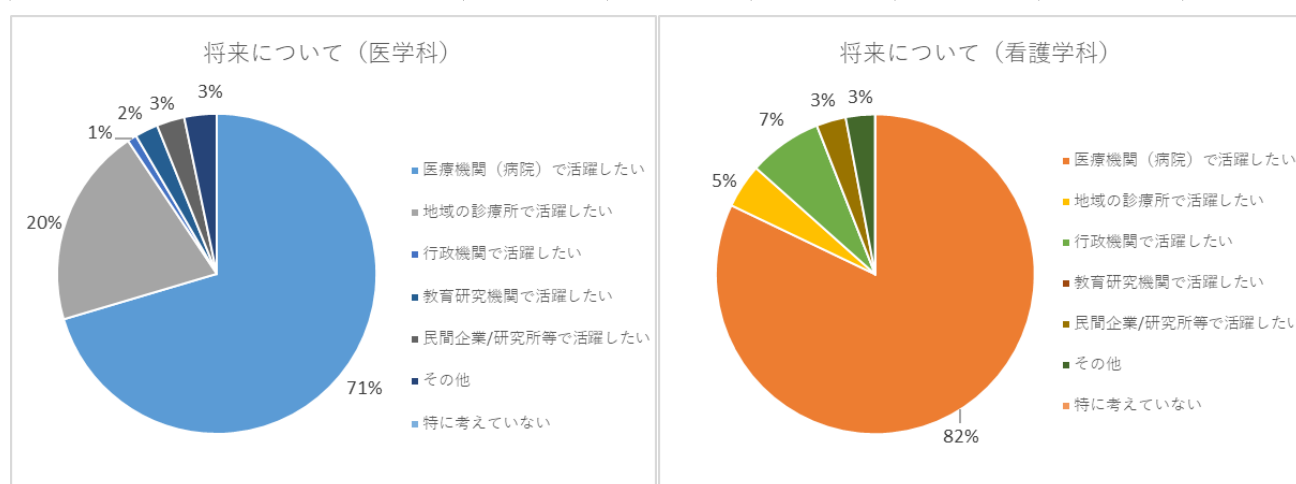
将来の理想像として、「医療機関（病院）で活躍したい」との回答が医学科では約 7 割、看護学科では約 8 割であった。

希望就職先は、医学科では県外の病院との回答が約 4 割、県内の病院との回答が約 2 割、本学附属病院への就職希望は 1 割、他大学附属病院への就職希望は約 1 割であった。看護学科では県外の病院との回答が約 2 割、県内の病院との回答は 1 割に満たず、本学附属病院への就職希望は最も多く約 4 割、他大学附属病院への就職希望は約 2 割であった。なお、大学院進学希望者は医学科にはいなかったが、看護学科には 1 名いた。

また、就職先を選ぶ基準において、医学科では「学んだ知識や技術が生かせる」「人間関係が良い」の 2 項目が多く、看護学科では、「人間関係が良い」の回答は約 4 割を占めた。

（将来の理想像）

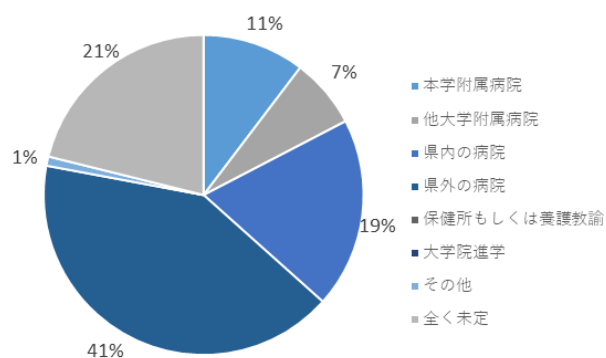
	医学科		看護学科		計	
医療機関（病院）で活躍したい	150	70.4%	55	82.1%	205	73.2%
地域の診療所で活躍したい	43	20.2%	3	4.5%	46	16.4%
行政機関で活躍したい	2	0.9%	5	7.5%	7	2.5%
教育研究機関で活躍したい	5	2.3%	0	0.0%	5	1.8%
民間企業/研究所等で活躍したい	6	2.8%	2	3.0%	8	2.9%
その他	7	3.3%	2	3.0%	9	3.2%
特に考えていない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	213	100.0%	67	100.0%	280	100.0%



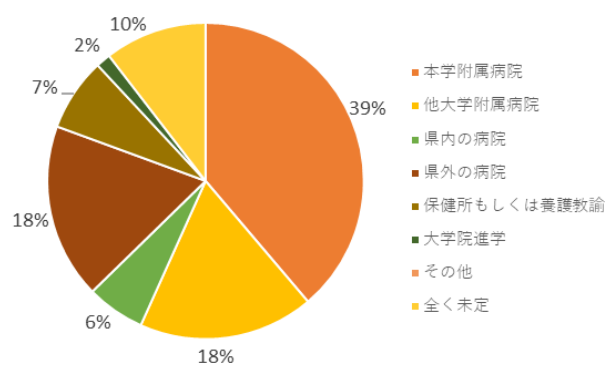
(希望就職先)

	医学科		看護学科		計	
本学附属病院	22	10.3%	26	38.8%	48	17.1%
他大学附属病院	15	7.0%	12	17.9%	27	9.6%
県内の病院	41	19.2%	4	6.0%	45	16.1%
県外の病院	88	41.3%	12	17.9%	100	35.7%
保健所もしくは養護教諭	0	0.0%	5	7.5%	5	1.8%
大学院進学	0	0.0%	1	1.5%	1	0.4%
その他	2	0.9%	0	0.0%	2	0.7%
全く未定	45	21.1%	7	10.4%	52	18.6%
計	213	100.0%	67	100.0%	280	100.0%

卒後の進路（医学科）

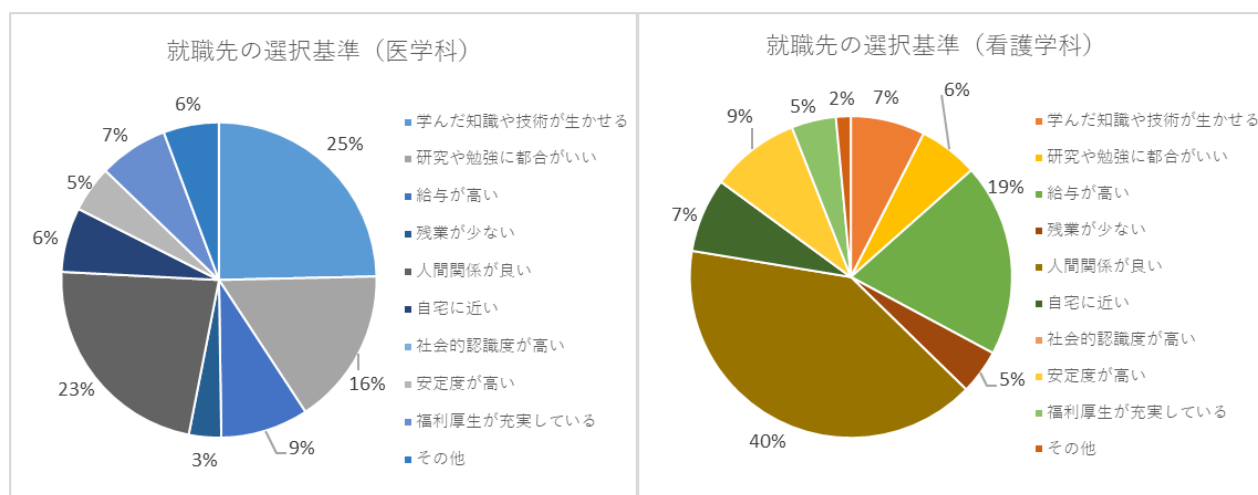


卒後の進路（看護学科）



(就職先を選ぶ基準)

	医学科		看護学科		計	
学んだ知識や技術が生かせる	52	24.6%	5	7.5%	57	20.5%
研究や勉強に都合がいい	34	16.1%	4	6.0%	38	13.7%
給与が高い	19	9.0%	13	19.4%	32	11.5%
残業が少ない	7	3.3%	3	4.5%	10	3.6%
人間関係が良い	48	22.7%	27	40.3%	75	27.0%
自宅に近い	14	6.6%	5	7.5%	19	6.8%
社会的認識度が高い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
安定度が高い	10	4.7%	6	9.0%	16	5.8%
福利厚生が充実している	15	7.1%	3	4.5%	18	6.5%
その他	12	5.7%	1	1.5%	13	4.7%
計	211	100.0%	67	100.0%	278	100.0%



2024 年度 滋賀医科大学 学修・学生生活実態調査報告書

発行年月：2024 年 12 月

編集発行：滋賀医科大学 医学・看護学教育センター
〒520-2192 大津市瀬田月輪町

Tel 077-548-3597（学務課）

